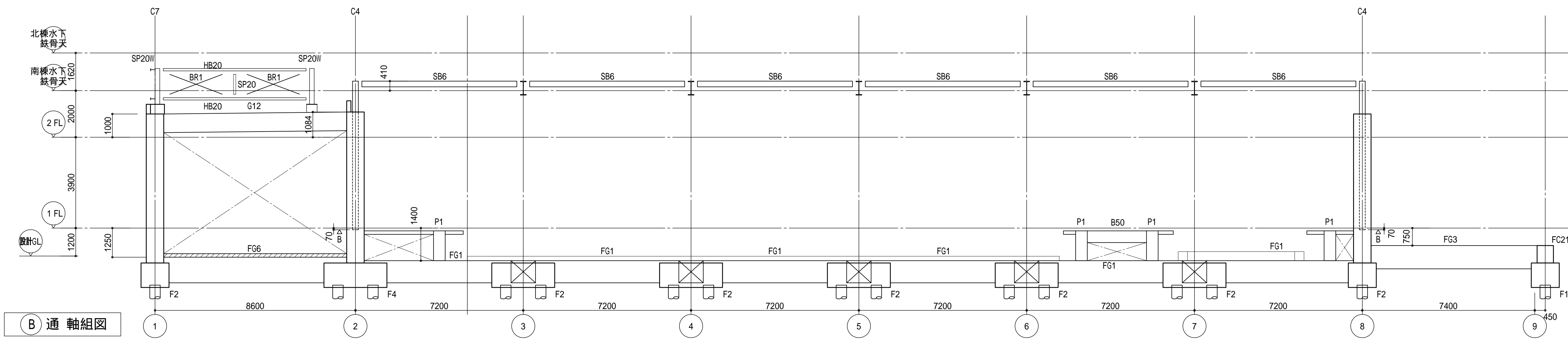
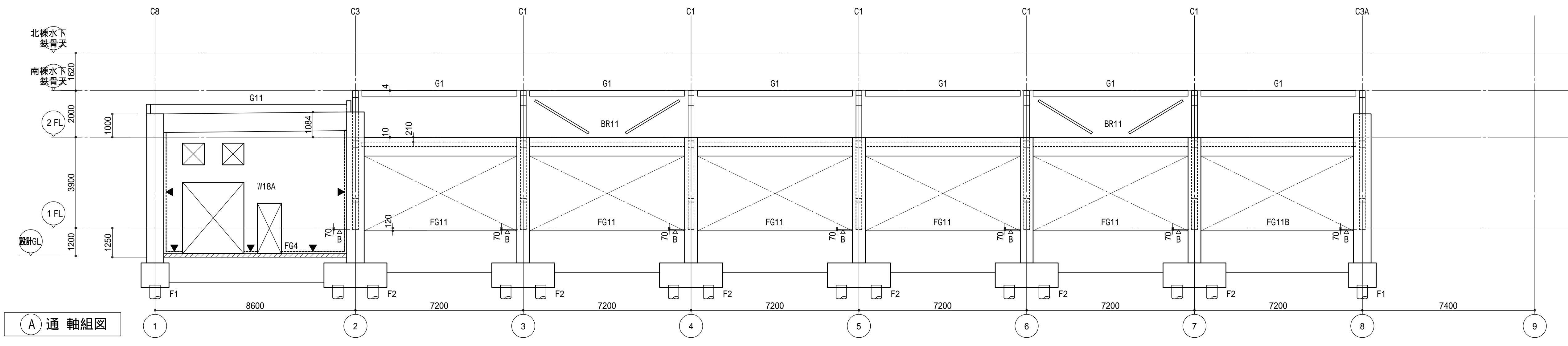


C 通軸組図



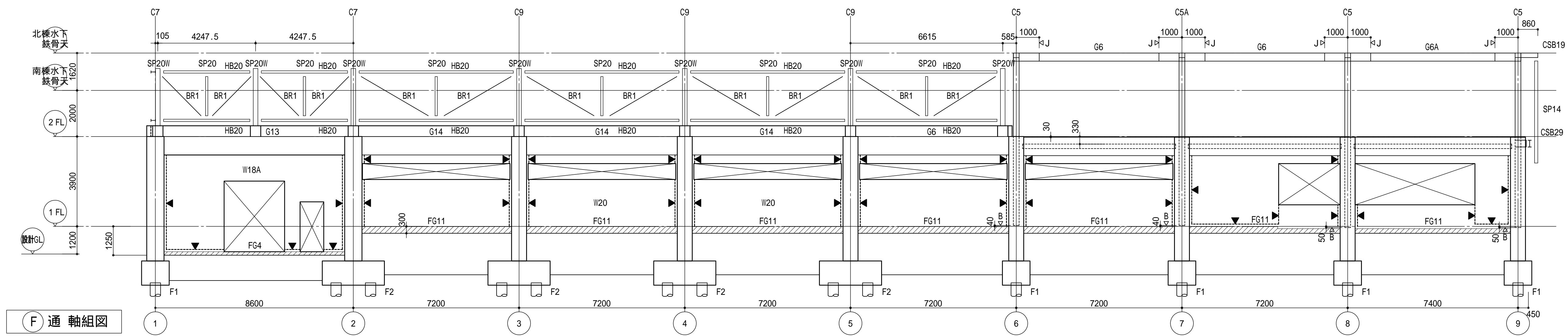
B 通軸組図



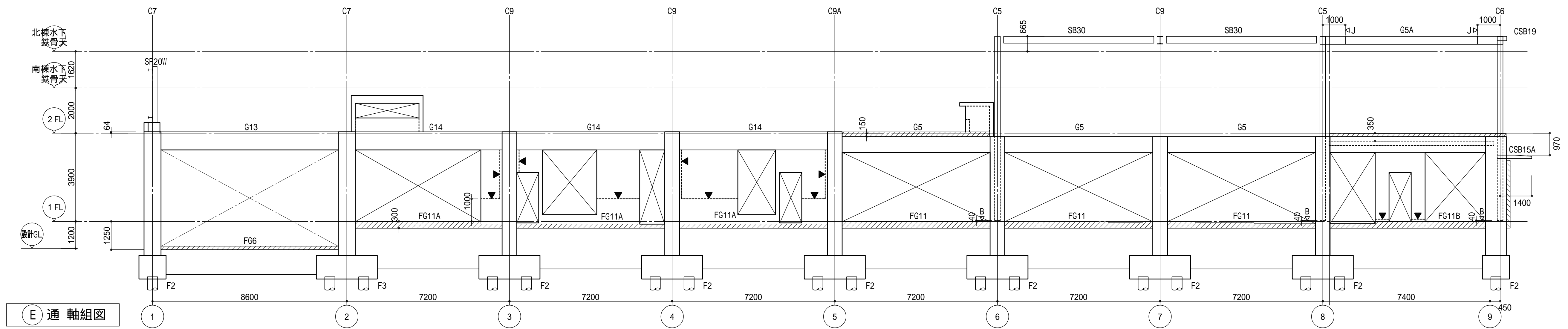
A 通軸組図

- 軸組図 その1
- 注記)
1. 特記なきRC壁はW18とする
 2. 耐震スリットを示す
 3. 基礎下端は1FL-2550とする
 4. $\frac{70}{B}$ はベースプレート下端を示す
 5. <J> は大梁、柱継手位置を示す
 6. 鉄骨梁の接合部は下記による。
 ・剛接合を示す ・ピン接合を示す
- C柱 SP柱
7. は増打を示す

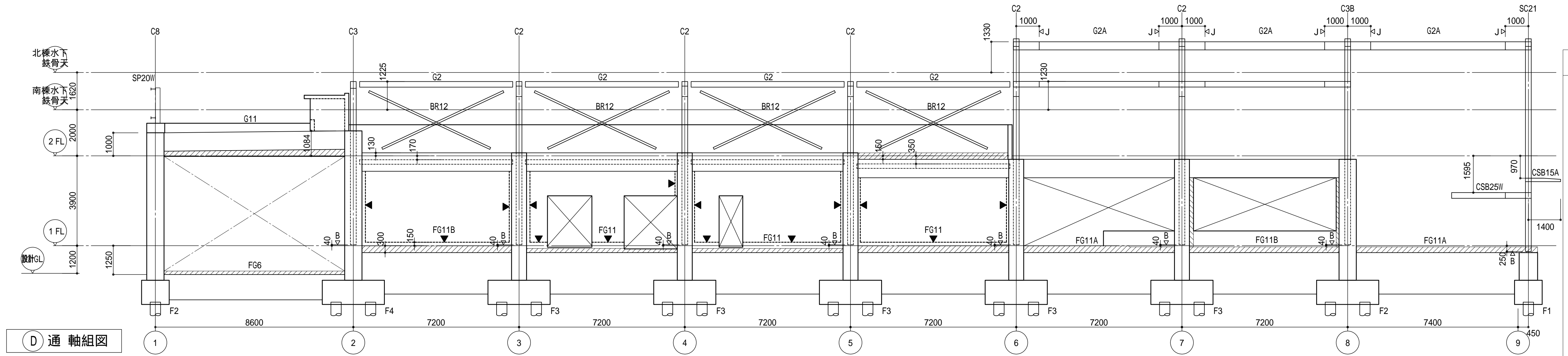
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253 一級建築士 NO.286010 小柳 英治	作成日 2021.03 一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	種別/備考 担当	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-018
	図面名称 軸組図 その1		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200		



F 通軸組図



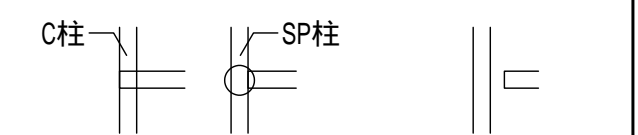
E 通軸組図



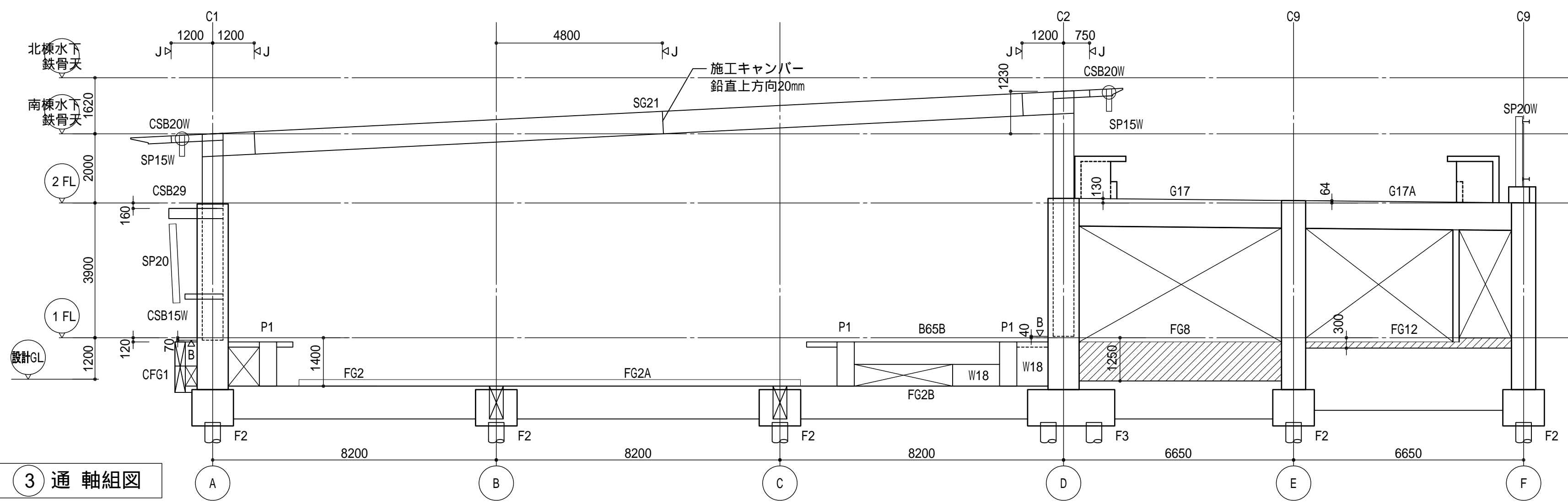
D 通軸組図

軸組図 その2

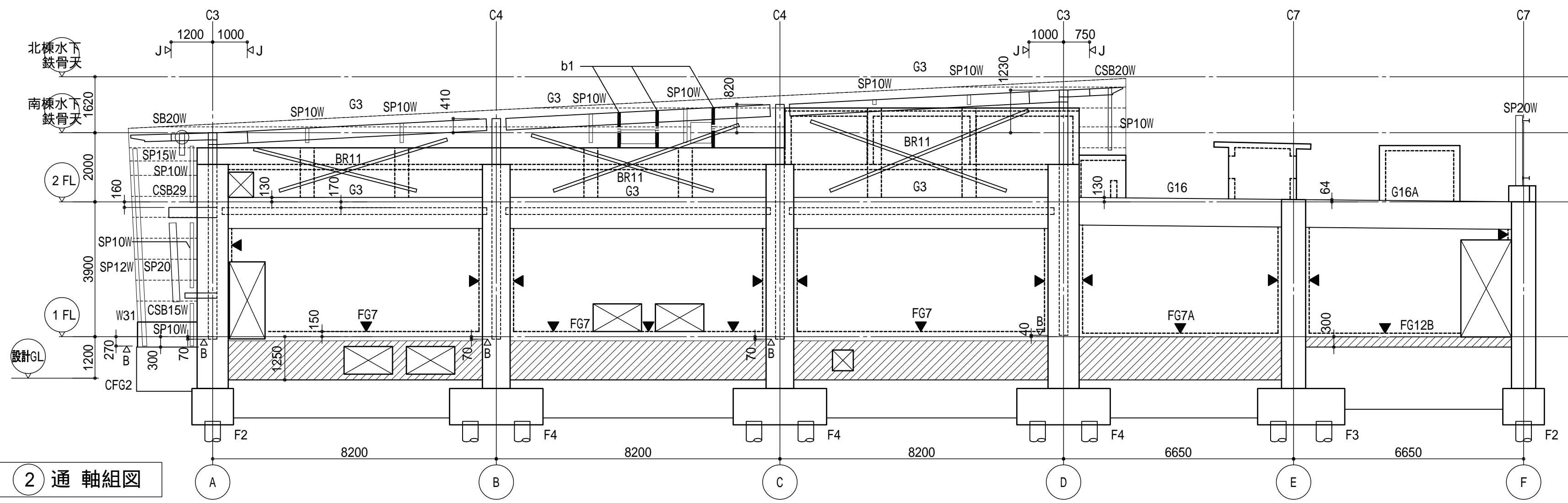
- 注記)
1. 特記なきRC壁はW18とする
 2. 耐震スリットを示す
 3. 基礎下端は1FL-2550とする
 4. $\frac{a}{b}$ はベースプレート下端を示す
 5. <J> は大梁、柱継手位置を示す
 6. 鉄骨梁の接合部は下記による
 ・剛接合を示す ・ピン接合を示す
 7. //// は増打を示す



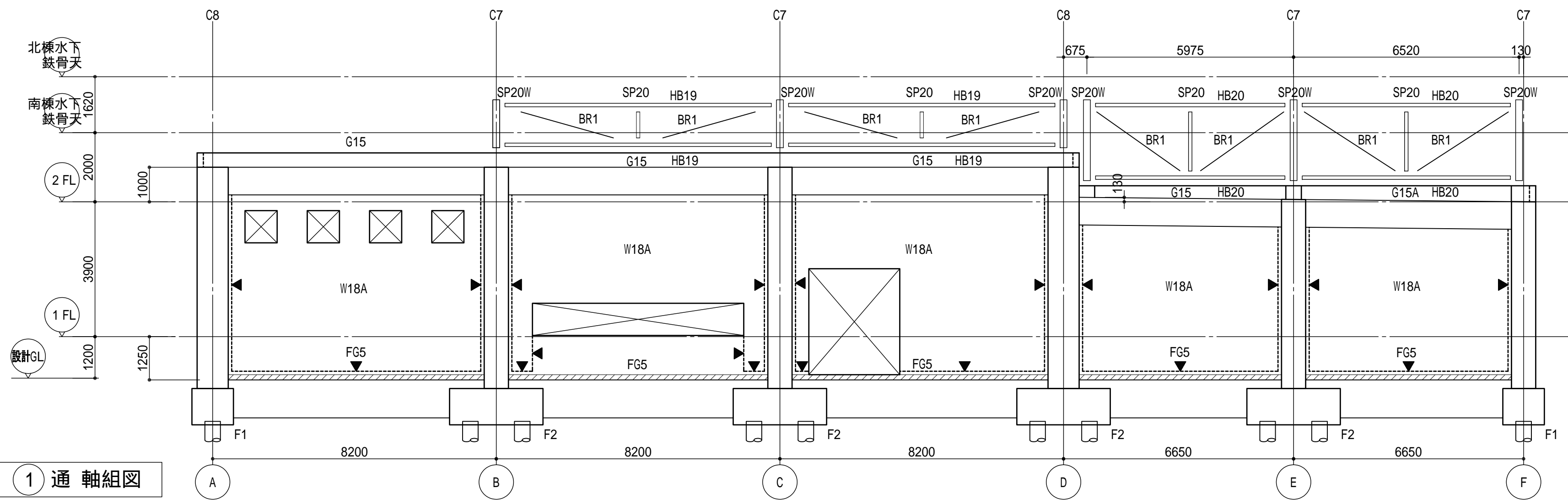
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考 担当	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-019
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則		図面名称 軸組図 その2 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	



3) 通軸組図



2) 通軸組図

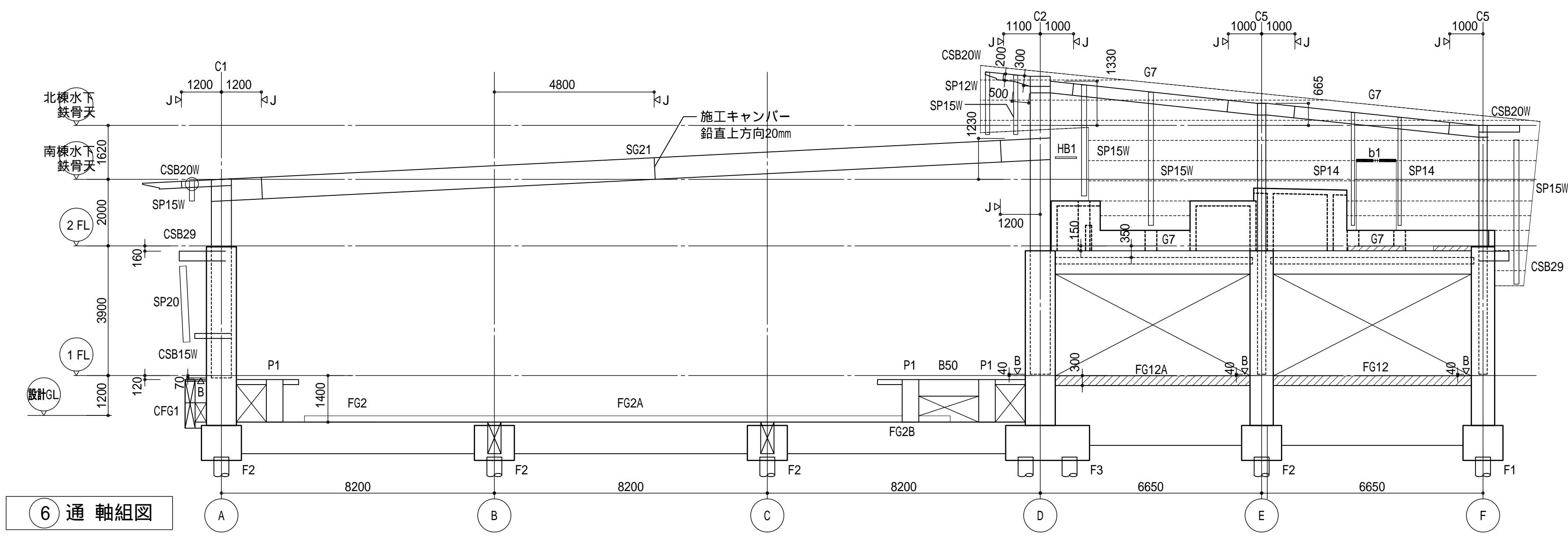


1) 通軸組図

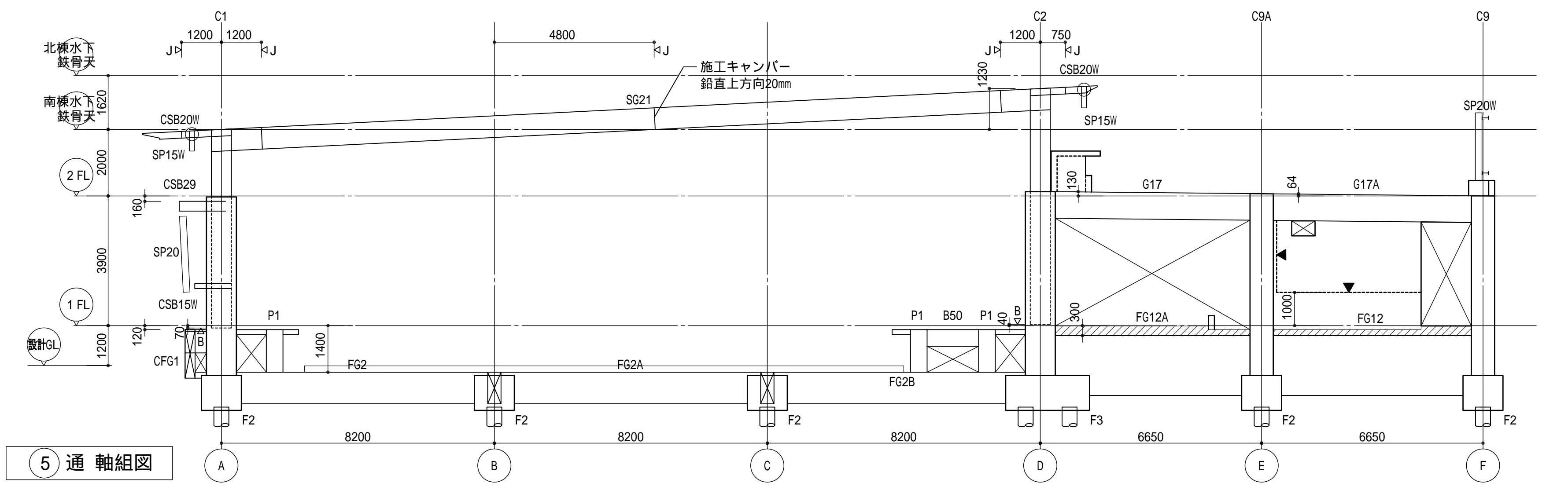
軸組図 その3

- 注記)
1. 特記なきRC壁はW18とする
 2. ...耐震スリットを示す
 3. 基礎下端は1FL-2550とする
 4. $\frac{\Delta}{B}$ はベースプレート下端を示す
 5. <J> は大梁、柱継手位置を示す
 6. 鉄骨梁の接合部は下記による
・剛接合を示す ・ピン接合を示す
- C柱 SP柱
7. 範囲は横間縁C-100x50x20x3.2#606以下とする (#1820毎に2C-100x50x20x3.2)
 8. は増打を示す

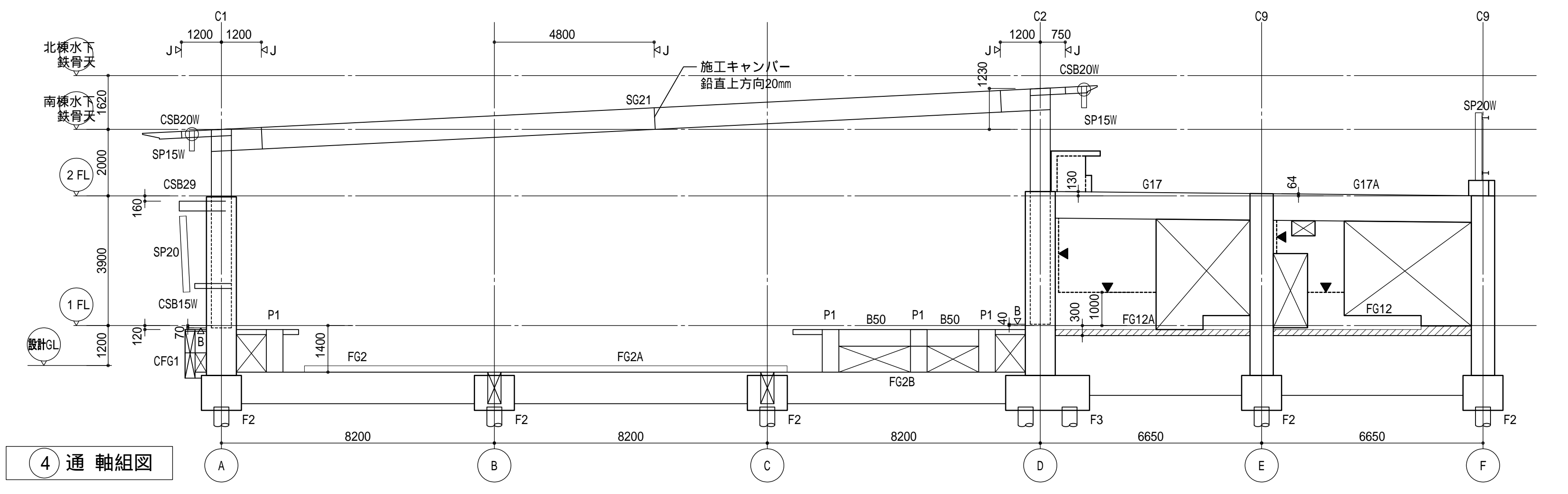
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 軸組図 その3 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	S-020



6 通軸組図



5 通軸組図

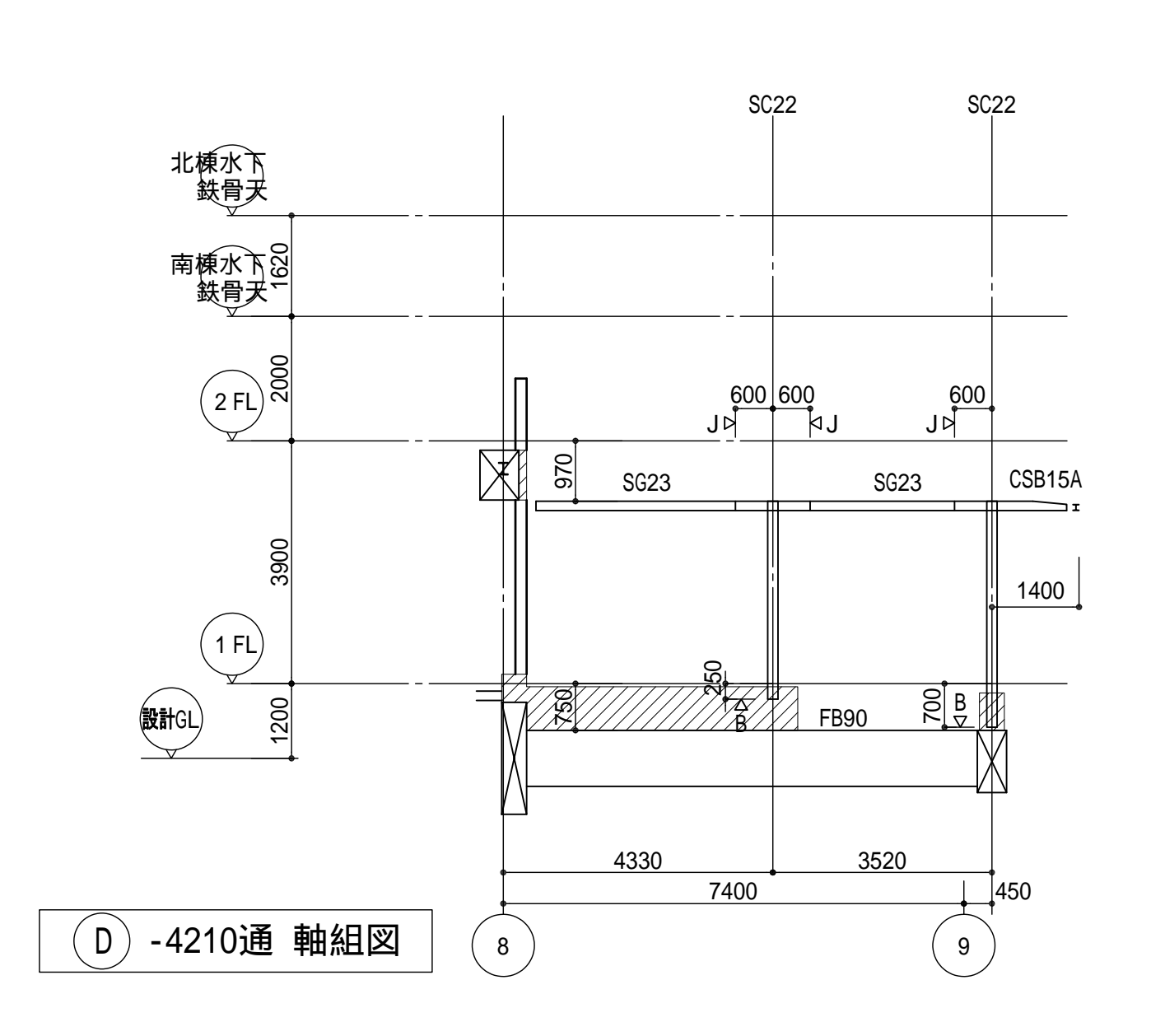
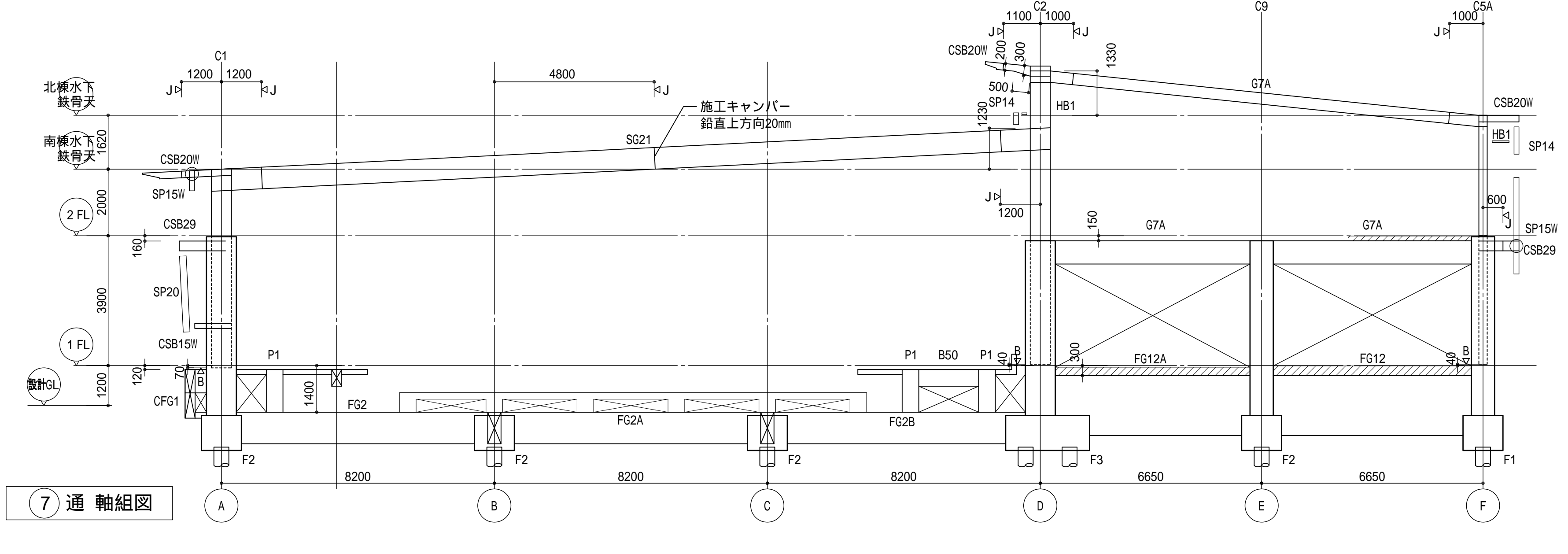
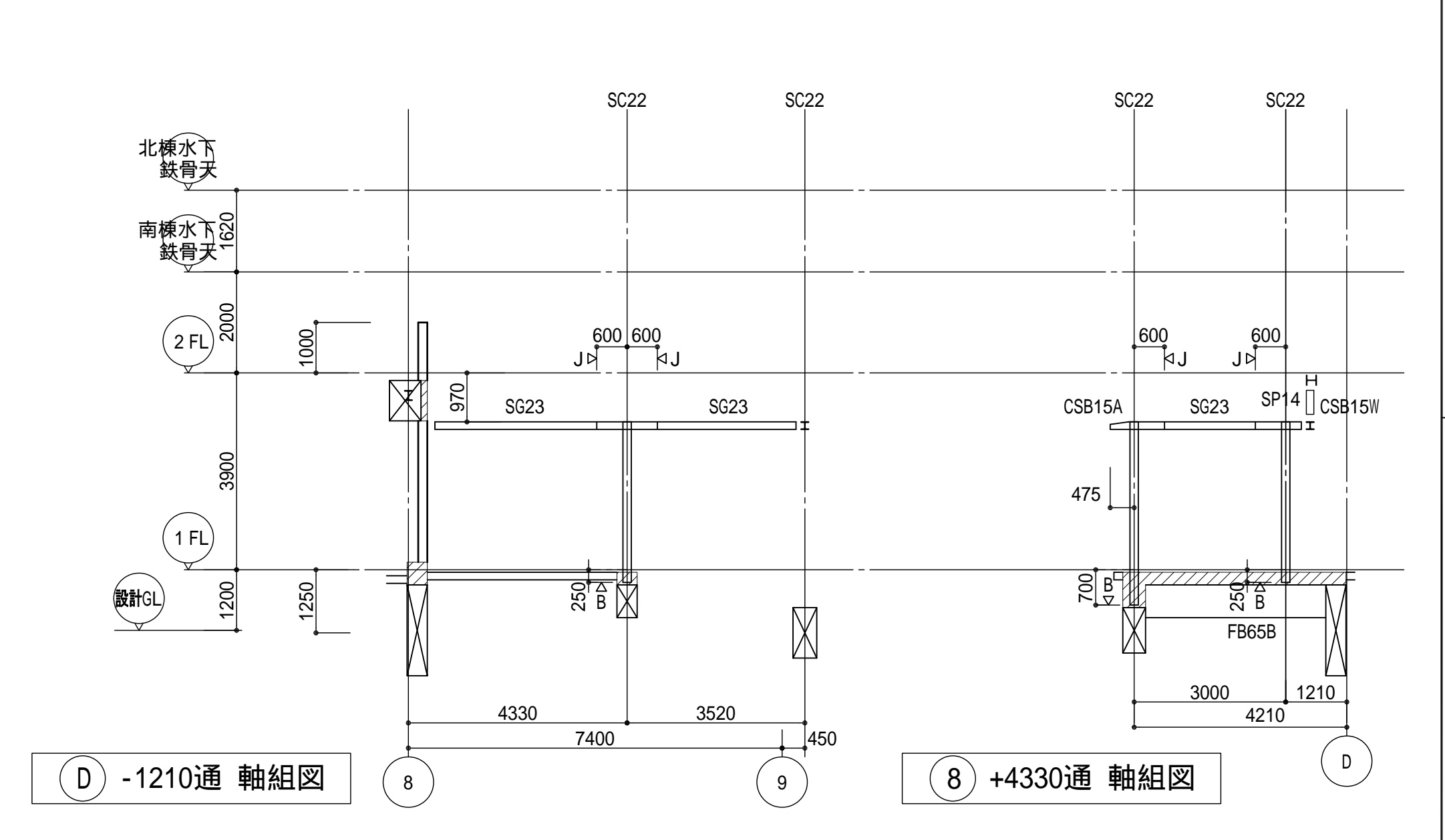
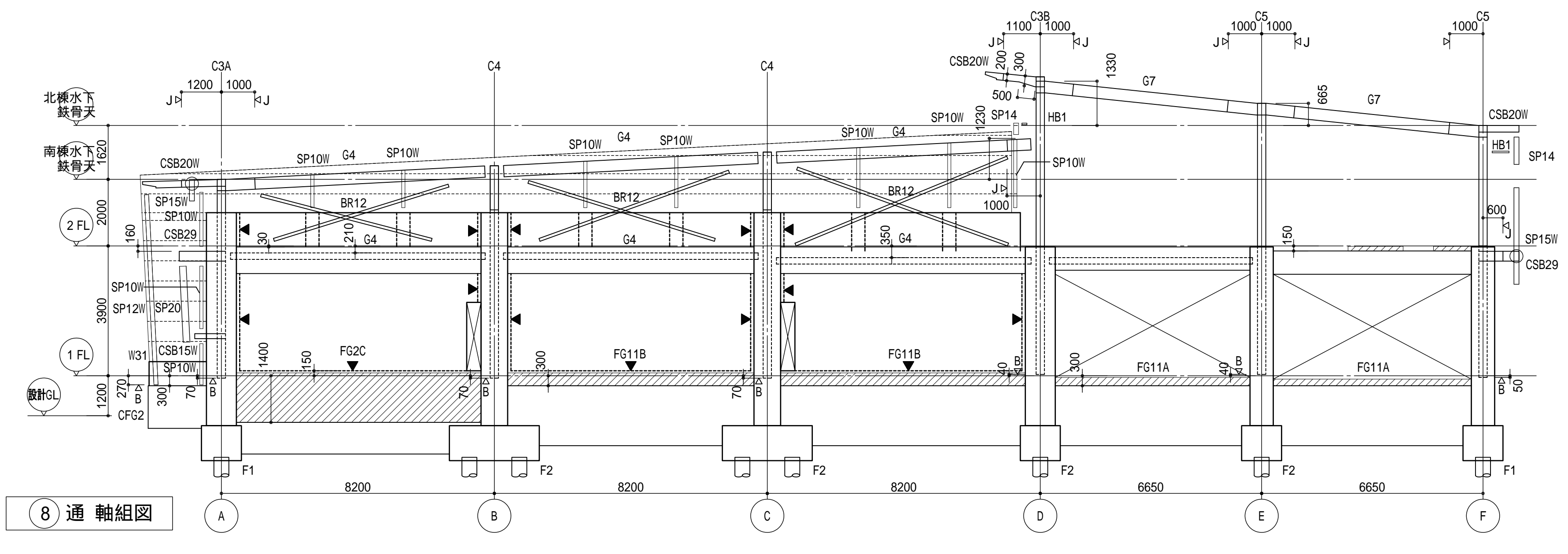
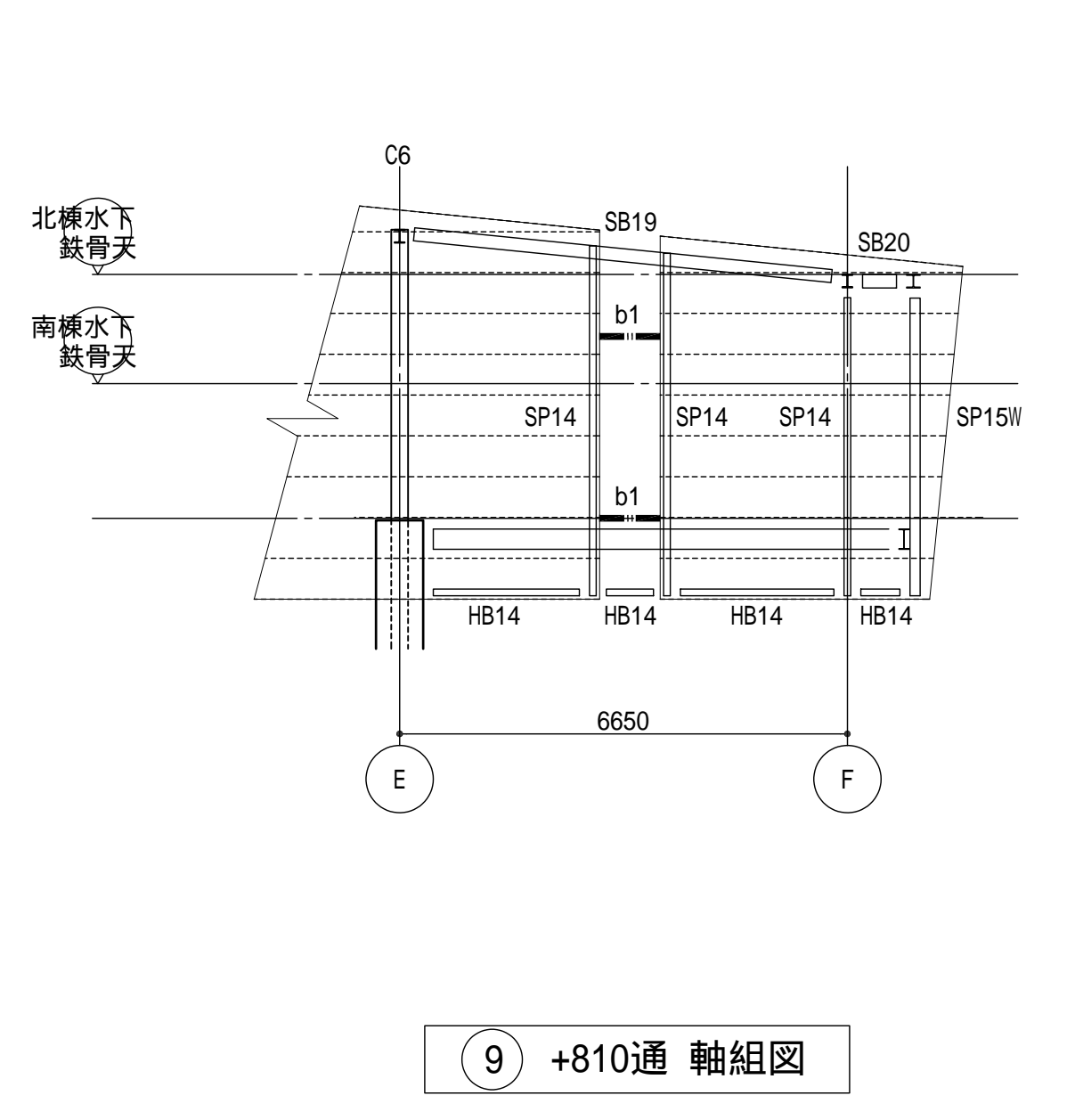
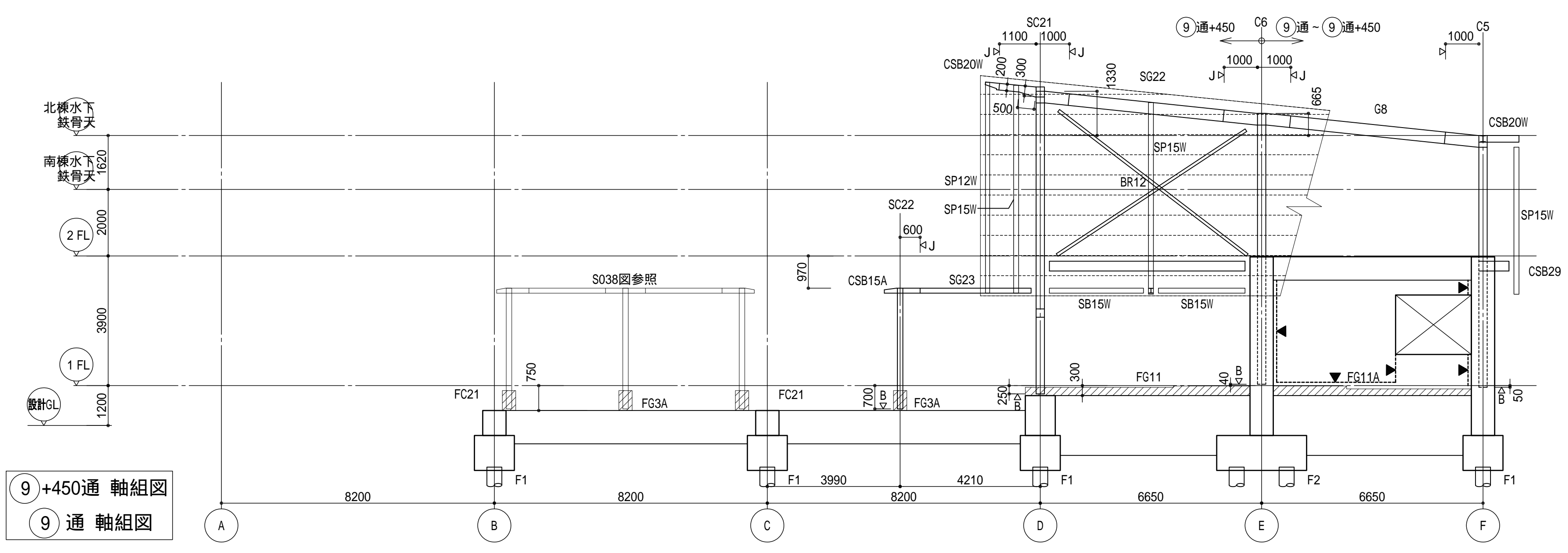


4 通軸組図

軸組図 その4

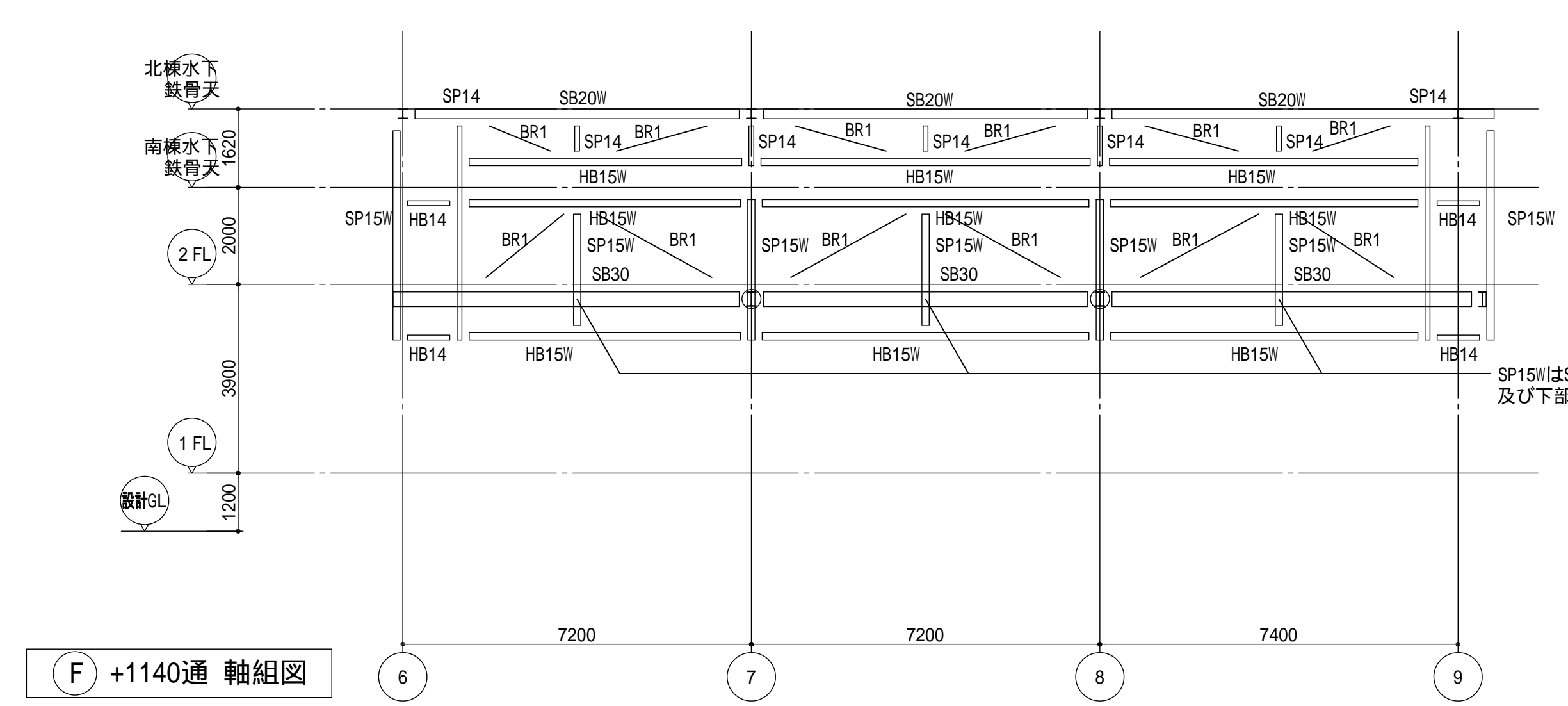
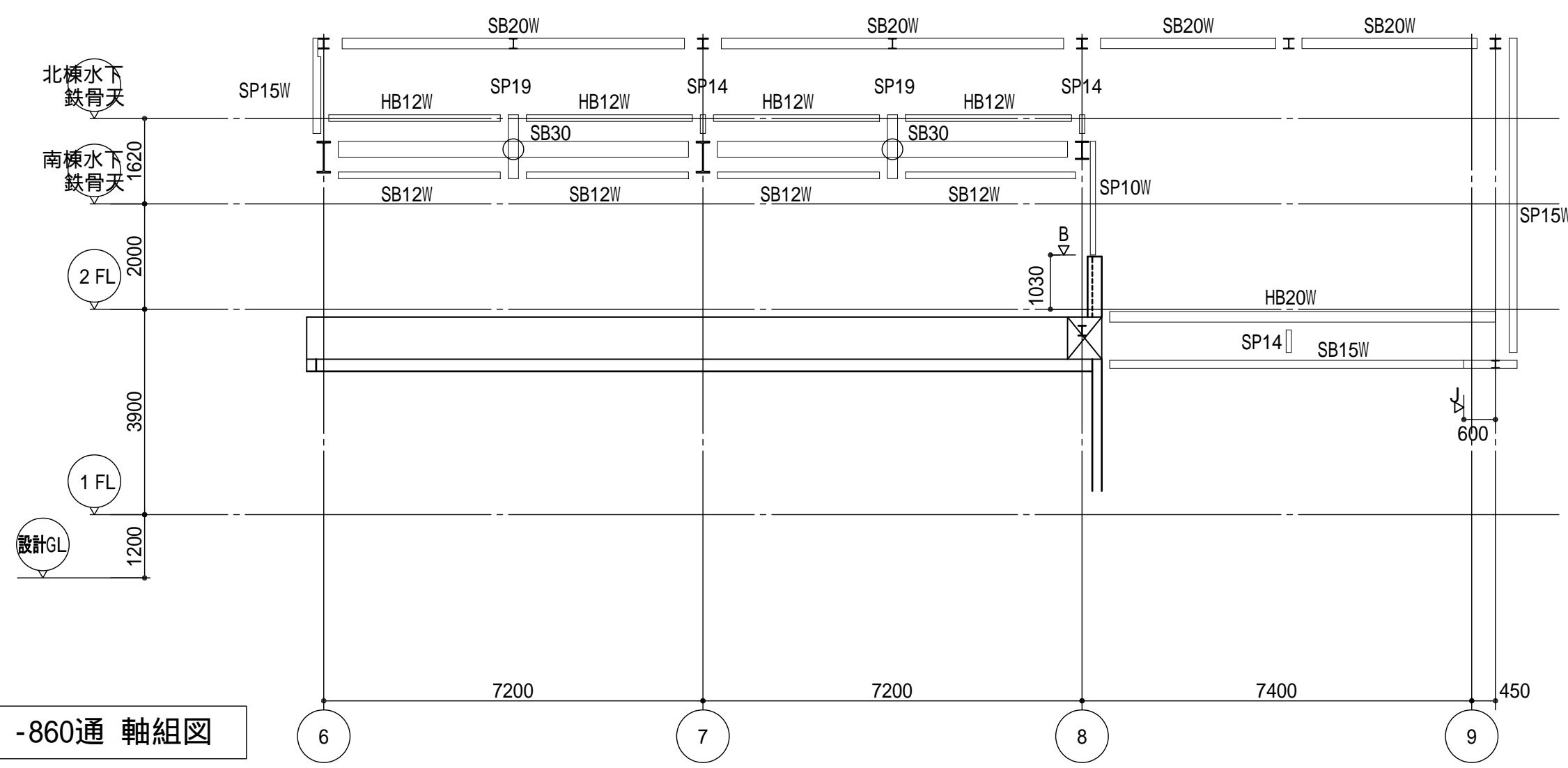
- 注記)
1. 特記なきRC壁はW18とする
 2. ...耐震スリットを示す
 3. 基礎下端は1FL-2550とする
 4. $\frac{\Delta}{B}$ はベースプレート下端を示す
 5. <J> は大梁、柱継手位置を示す
 6. 鉄骨梁の接合部は下記による
 ・剛接合を示す ・ピン接合を示す
- C柱 SP柱
7. 範囲は横間縁C-100x50x20x3.2#606以下とする (#1820毎に2C-100x50x20x3.2)
 8. は増打を示す

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 軸組図 その4 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	S-021

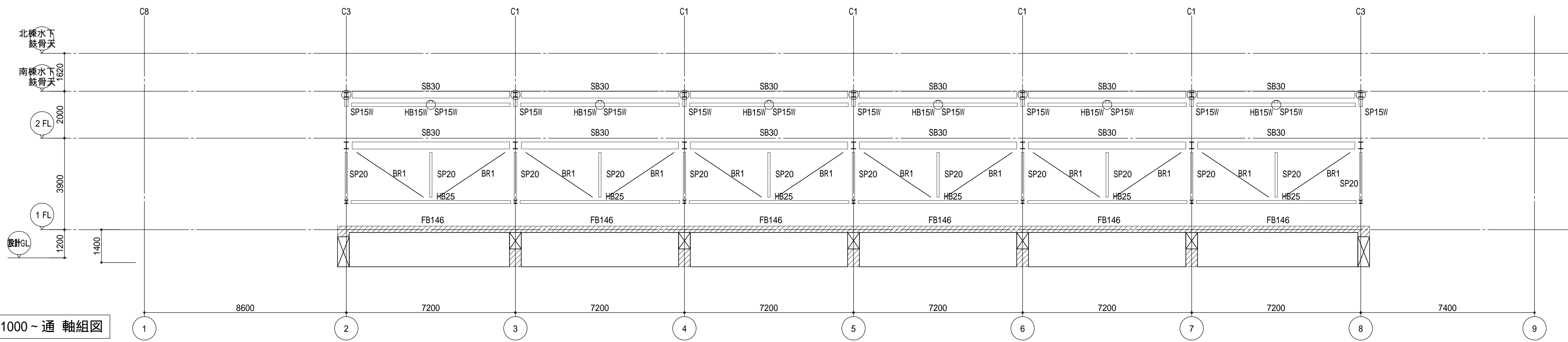
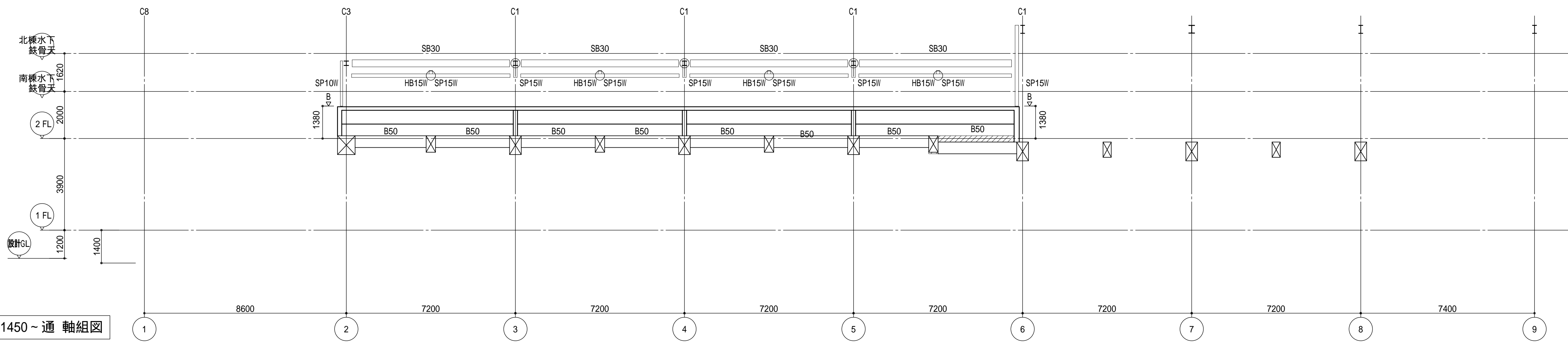


- 軸組図 その5
- 注記)
1. 特記なきRC壁はW18とする
 2. ...耐震スリットを示す
 3. 基礎下端は1FL-2550とする
 4. $\frac{\Delta}{B}$ はベースプレート下端を示す
 5. <J> は大梁、柱継手位置を示す
 6. 鉄骨梁の接合部は下記による
・剛接合を示す
・ピン接合を示す
- C柱 SP柱
7. 範囲は横間縁C-100x50x20x3.2#606
以下とする(#1820毎に2C-100x50x20x3.2)
 8. は増打を示す

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 軸組図 その5 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	S-022



SP15WはSB30のフランジ上部及び下部でピン接合



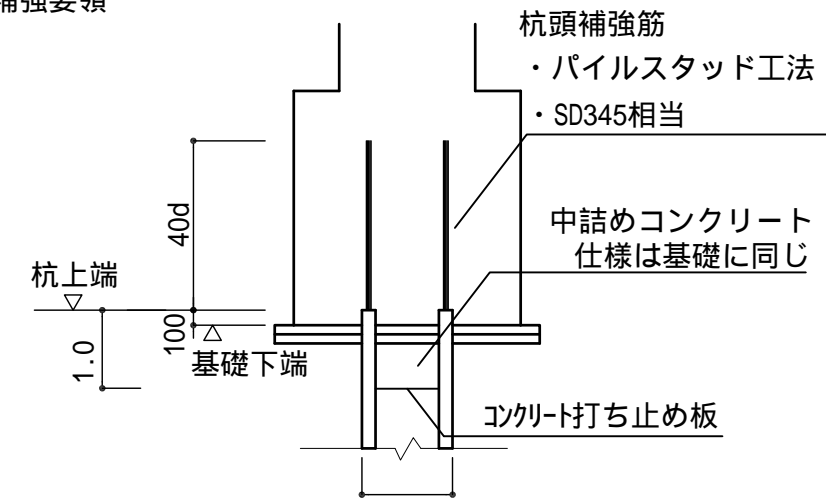
- 軸組図 その6**
- 注記)
1. 特記なきRC壁はW18とする
 2. 耐震スリットを示す
 3. 基礎下端は1FL-2550とする
 4. $\frac{a}{b}$ はベースプレート下端を示す
 5. <J> は大梁、柱継手位置を示す
 6. 鉄骨梁の接合部は下記による
 - ・剛接合を示す
 - ・ピン接合を示す
 7. は増打を示す
- C柱 SP柱

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考 担当	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-023
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則		図面名称 軸組図 その6 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	

杭リスト

- 注記) 1. 工法: Hyper-MEGA工法((プレボーリング拡大根固め工法(高支持力杭工法 拡大比 =1.0))
 ただし、杭の検討書を提出し監督職員の承諾を得られれば他の認定工法を採用することは可能とする。
 2. 支持層: 砂礫層
 3. 杭のコンクリート基準強度は $F_c=105\text{N}/\text{mm}^2$ とする。

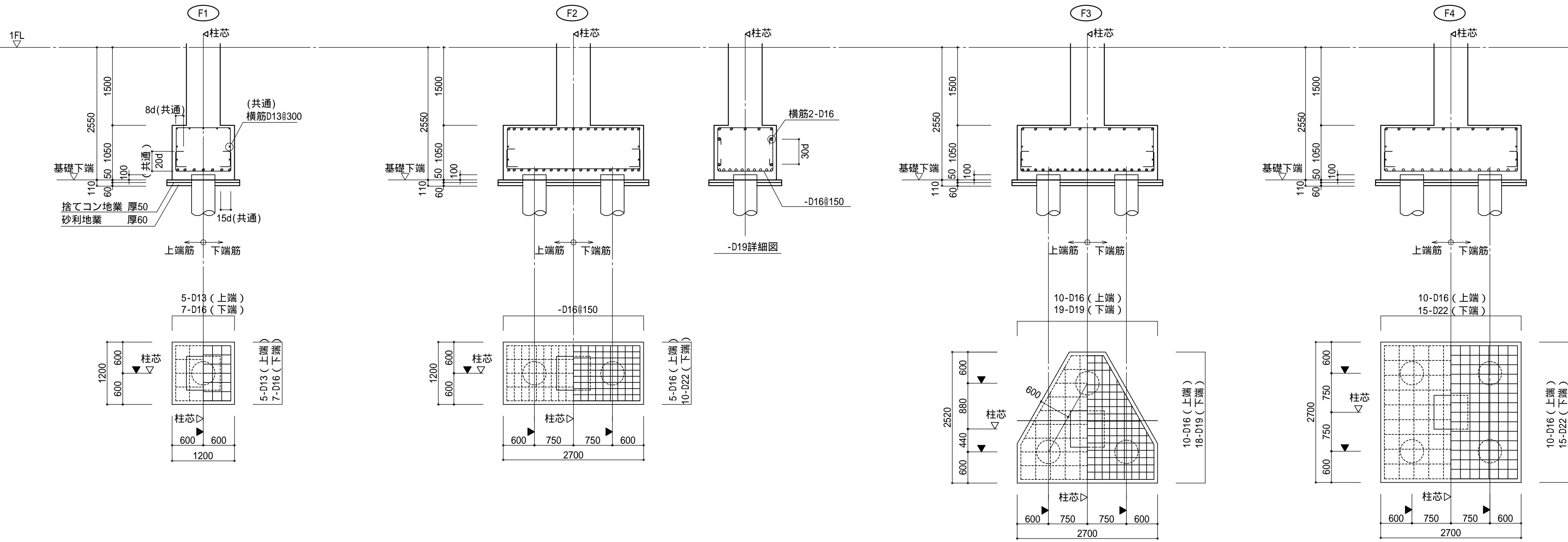
4. 杭頭補強要領



符号	長期許容支持力(kN)	杭径(節径-軸径)	杭長(m)	本数	杭種	杭頭補強
P1	1200kN	450 (600-450)	15m	84	PHC(C種) 7m + 節付PHC(A種) 8m	10-D16
P2	1200kN	450 (600-450)	15m	24	PRC(種) 7m + 節付PHC(A種) 8m	10-D19
合計本数 108本						

基礎リスト

- 注記) 1. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A
 D19~D25 SD345
 2. 地業 捨てコンクリート 厚50
 砂利地業 厚60
 3. ▼は杭心を示す。



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-024
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 杭、基礎リスト	
	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100				

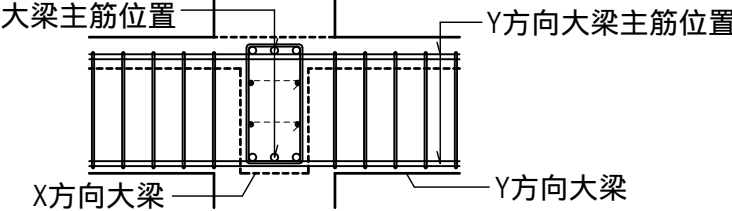
基礎梁リスト

注記) 1. 巾止め筋は、型 -D10@1000 とする。
2. 一段筋と二段筋のあき間隔 1.5d

3. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A
D19~D25 SD345
D29 SD390

4. 地業 捨てコンクリート 厚50
砂利地業 厚60

5. 大梁主筋の上下関係は原則として右図とする。
(X方向主筋が上)



符 号	FG1		FG2		FG2A		FG2B			FG2C		FG3		FG3A	FG4	FG5	FG6		FG7	FG7A	
	端部	中央	(A)端	中央・(B)端	(B)端・中央	(C)端	(C)端	中央	(D)端	(A)端・中央	(B)端	(B)端・中央	(9)端	全断面	全断面	全断面	(1)端	中央・(2)端	全断面	(D)端・中央	(E)端
断面																					
B X D	600x950		1050x950		1050x950		1050x950			750x950		400x1000		470x1000	500x1100	500x1100	600x1100		750x1100	750x1100	
上端筋	5/2-D29	5-D29	11-D29	11/7-D29	11/7-D29	11/5-D29	11/5-D29	11/2-D29	11/2-D29	7/5-D29	7/5-D29	3/2-D29	3/1-D29	3/1-D29	4-D29	4/2-D29	5/1-D29	5/3-D29	7/6-D29	7/3-D29	7/1-D29
下端筋	5-D29	5-D29	9-D29	9/2-D29	9/2-D29	9/1-D29	9/1-D29	9-D29	9-D29	5/5-D29	5/2-D29	3/1-D29	3/1-D29	3-D29	4-D29	4/1-D29	5-D29	5-D29	7/4-D29	7-D29	7-D29
腹筋	4-D10		4-D10		4-D10		4-D10			4-D10		4-D10		4-D10	4-D10	4-D10	4-D10		4-D10	4-D10	
あばら筋	□ - D13@150		▨ - D13@100		▨ - D13@100		▨ - D13@150			▨ - D13@100		□ - D13@200		□ - D13@200	□ - D13@200	□ - D13@200	□ - D13@200		▨ - D13@100	□ - D13@150	

符 号	FG8		FG11	FG11A	FG11B	FG12	FG12A		FG12B	
	(D)端・中央	(E)端	全断面	全断面	全断面	全断面	(D)端・中央	(E)端	(E)端・中央	(F)端
断面										
B X D	900x1100		400x1800	400x1800	400x1800	450x1800	450x1800		450x1800	
上端筋	7/5-D29	7-D29	3-D29	3/1-D29	3/2-D29	4-D29	4/3-D29	4-D29	4/1-D29	4-D29
下端筋	6/2-D29	6-D29	3-D29	3-D29	3/1-D29	3/1-D29	3/2-D29	3-D29	3/1-D29	3/1-D29
腹筋	4-D10		8-D10	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10		8-D10	
あばら筋	□ - D13@100		□ - D13@200	□ - D13@200	□ - D13@200	□ - D13@200	□ - D13@200		□ - D13@200	

基礎小梁・基礎片持梁リスト

注記) 1. 巾止め筋は、型 -D10@1000 とする。
2. 一段筋と二段筋のあき間隔 1.5d

3. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A
D19~D25 SD345

4. 地業 捨てコンクリート 厚50
砂利地業 厚60

符 号	FB50	FB50A	FB60		FB60A			FB65A		FB65B	FB70			FB70A			FB80	
	全断面	全断面	端部	中央	(2)端	中央	(3)端	端部	中央	全断面	(4)端	(6)端	中央	(5)端	(2)端	中央	(3)端	全断面
断面																		
B X D	300x500	600x500	600x600		600x600			600x650		400x650	600x700			600x700			500x800	
上端筋	3-D19	4-D19	6-D25	4-D25	6/1-D25	5-D25	6-D25	6/2-D25	6-D25	4-D22	6-D25	6/2-D25	6/2-D25	6/2-D25	6/2-D25	6-D25	4-D25	5-D22
下端筋	3-D19	4-D19	4-D25	6-D25	6-D25	6-D25	4-D25	6/2-D25	6-D25	4-D22	4-D25	6-D25	6/2-D25	6/2-D25	6/2-D25	6-D25	4-D25	5-D22
腹筋	-	-	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10	2-D10			2-D10			2-D10	
あばら筋	□ - D10@200	□ - D13@200	□ - D13@200		□ - D13@200			□ - D13@150		□ - D10@150	□ - D13@150			□ - D13@150			□ - D13@200	

符 号	FB90		FB90A		FB90B			FB146	FB185	CFG1	CFG2
	端部	中央	端部	中央	(1)端	中央	(2)端	全断面	全断面	全断面	全断面
断面											
B X D	450x900		600x900		400x900			300x1460	300x1850	500x700	500x1280
上端筋	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	3-D19	3-D22	4-D29	4-D29
下端筋	4-D25	4/2-D25	6-D25	6/3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D19	3-D22	4-D29	4-D29
腹筋	4-D10		4-D10		4-D10			6-D10	8-D10	2-D10	6-D10
あばら筋	□ - D13@200		□ - D13@200		□ - D13@200			□ - D10@200	□ - D10@200	□ - D13@200	□ - D13@200

柱リスト

注記 1. 帯筋の形状はH形
(SRC仕口部はW-1形)

2. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A
D19~D25 SD345

4. 仕口部内帯筋は、柱の帯筋の1.5倍ピッチとする。(同径・同材・中子筋なし)
但し、C1,C2,C3,C3A,C3B,C6,C8柱は柱の帯筋と同ピッチとする。(同径・同材・中子筋なし)

5. 鉄骨 材質 SN400B
BH- 組立H形鋼
SH- 外法一定H形鋼
H- H形鋼

6. 外法一定H形鋼は溶接組立H形鋼に
変更しても良い

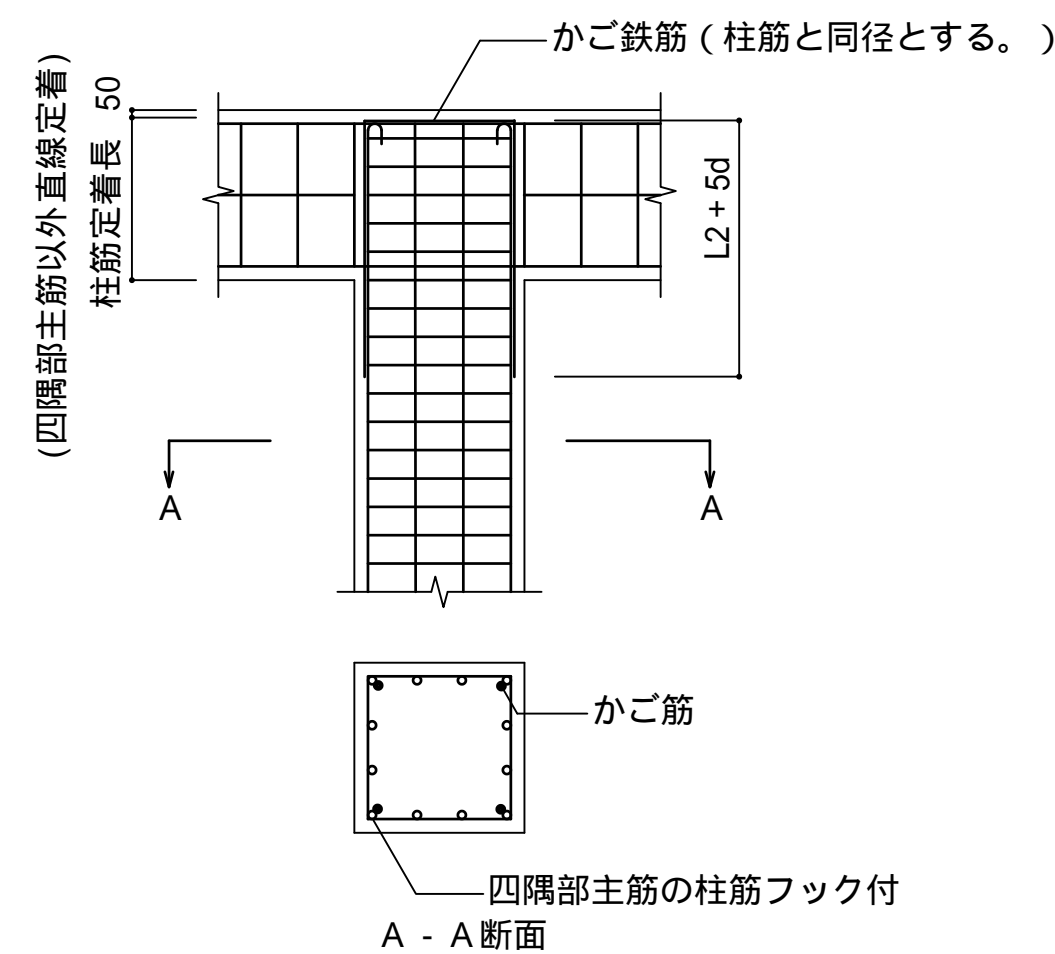
3. > 二段筋を示す

符 号	C1	C2	C3	C3A	C3B	C4	C5	C5A	C6	C7	C8	C9	C9A		
1階断面															
X x Y	550x900	650x900	750x900	750x900	750x900	750x800	650x700	650x700	920x700	750x700	750x900	650x700	650x700		
主筋	16-D25	18-D22	20-D25	18-D25	20-D22	20-D25	16-D22	16-D22	20-D22	18-D22	18-D22	18-D22	18-D22		
帯筋	□-D13#100	□-D13#100	■-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100	□-D13#100		
鉄骨	SH-600x250x12x28	SH-600x250x12x28	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14	H-250x250x9x14		

符 号	FC21
基礎断面	
X x Y	700x700
主筋	12-D22
帯筋	□-D13#150


柱頭補強配筋図

- ・四隅部主筋について柱梁接合部に定着長L2hが確保できない場合は下図による。鉄筋かごをはり筋の上から柱頭にかぶせ、鉄筋かごと柱筋を重ね継手により一体とする。
- ・四隅部以外の主筋については柱梁接合部に直線定着とする。(定着長 = 梁せい - 50mm)



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-026
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 柱リスト 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	

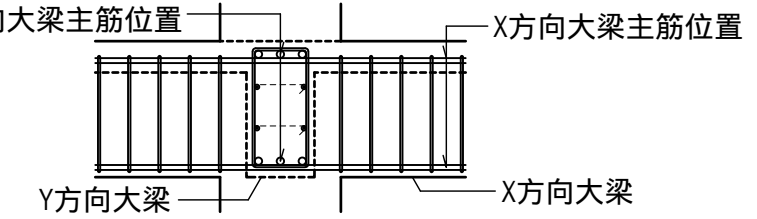
大梁リスト

注記) 1. 巾止め筋は、 型 -D10@1000 とする。
2. 一段筋と二段筋のあき間隔 特記外1.5d

3. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A
D19~D25 SD345

4. 鉄骨材質 SS400
BH- 組立H形鋼
SH- 外法一定H形鋼
H- H形鋼

5. 大梁主筋の上下関係は原則として右図とする。
(Y方向主筋が上)




符号	G1		G2		G2A		G3	G4	G5		G5A			G6		G6A			G7, G7A		G8	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	端部	中央	⑧端	中央	⑨端	端部	中央	⑧端	中央	⑨端	①端	②端	③端	全断面
2階断面																						
B X D	500x800		900x800		575x800		750x900	625x800	700x700		700x700			600x800		600x800			500x700		450x800	
上端筋	4-D22	3-D22	6-D25	6-D25	4/2-D25	4-D25	4/2-D25	3/2-D25	4/3-D25	4/1-D25	4/2-D25	4-D25	4/1-D25	3/2-D25	3-D25	3/2-D25	3-D25	3/1-D25	2/2-D25	4-D25	3-D25	3-D25
下端筋	3-D22	3-D22	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	4/1-D25	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	3-D25	3/1-D25	3-D25	3/1-D25	3-D25	2/2-D25	4-D25	3-D25	3-D25
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		4-D10	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		2-D10	
あばら筋	□ - D13@200		□ - D13@100		□ - D13@200		□ - D13@150	□ - D13@200	□ - D13@150		□ - D13@150			□ - D13@200		□ - D13@200			□ - D13@200		□ - D13@200	
鉄骨	H-194x150x6x9		H-194x150x6x9		H-194x150x6x9		H-194x150x6x9	H-194x150x6x9	H-194x150x6x9		H-194x150x6x9			H-194x150x6x9		H-194x150x6x9			H-194x150x6x9		H-194x150x6x9	

符号	G11		G12			G13		G14		G15		G15A			G16			G16A	
	①端・中央	②端	①端	中央	②端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	④端	中央	⑤端	④端	中央	⑤端	④端	中央・⑥端
2階断面																			
B X D	575x800		650x800			450x800		450x800		450x800		450x800			750x800			750x800	
上端筋	5-D25	5/2-D25	5-D25	5-D25	4/2-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4-D25	4/2-D25	5-D25	5/1-D25	5/1-D25	5-D25
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5/2-D25	4/2-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4/1-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
腹筋	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10			2-D10	
あばら筋	□ - D13@200		□ - D13@150			□ - D13@200		□ - D13@200		□ - D13@200		□ - D13@200			□ - D13@150			□ - D13@150	
鉄骨	H-194x150x6x9		H-194x150x6x9			H-194x150x6x9		H-194x150x6x9		H-194x150x6x9		H-194x150x6x9			H-194x150x6x9			H-194x150x6x9	

符号	G17			G17A	
	④端	中央	⑤端	④端	中央・⑥端
2階断面					
B X D	500x800			500x800	
上端筋	2/1-D25	4-D25	4/1-D25	4/1-D25	4-D25
下端筋	2/1-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25
腹筋	2-D10			2-D10	
あばら筋	□ - D13@200			□ - D13@200	
鉄骨	H-194x150x6x9			H-194x150x6x9	

小梁リスト

- 注記) 1. 巾止め筋は、 型 -D10@1000 とする。
 2. 一段筋と二段筋のあき間隔 1.5d
 3. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A D19~D25 SD345
 4. 腹筋2-D19、4-D19は引き通すこととし、端部は梁内にL2定着とする。

符号	B50, CB50	B55	B60	B60A		B60B	B65	B65A			B65B	B65C			B70		B70A			
	全断面	全断面	全断面	端部	中央	全断面	全断面	(E)端	中央	(D)、(F)端	全断面	(7)端	中央	(6)、(8)端	端部	中央	(E)端	中央	(D)、(F)端	
断面																				
B X D	300x500	400x550	300x600	300x600		500x600	350x650	350x650			400x650	400x700	400x650			350x700		400x700		
上端筋	3-D19	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D19	4-D22	4/1-D22	4-D22	4-D22	5-D22	5/1-D22	5-D22	5-D22	4/1-D22	4-D22	5/1-D22	5-D22	5-D22	
下端筋	3-D19	5-D22	3-D22	3-D22	3/1-D22	4-D19	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22	3-D22	
腹筋	-	-	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10			2-D10	2-D10			2-D10		2-D10			
あばら筋	□ - D10@200	□ - D10@150	□ - D10@200	□ - D10@200		□ - D10@125	□ - D10@200	□ - D10@200			□ - D10@150	□ - D10@100			□ - D10@200		□ - D10@150			

符号	B70B			B75		B90		B90A			B120		B40	B65D	
	(2)、(5)端	中央	(3)、(4)端	端部	中央	端部	中央	(2)、(5)端	中央	(3)、(4)端	端部	中央	全断面	他端、中央	(8)端
断面															
B X D	350x700			450x750		350x900		350x900			300x1200		300x400	400x650	
上端筋	4-D22	4-D22	4/1-D22	4-D22	4-D22	4/3-D22	4/1-D22	4-D22	4/1-D22	4/3-D22	3-D22	3-D22	3-D19	5-D22	5/1-D22
下端筋	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4/2-D22	4/1-D22	4/1-D22	4-D22	4/1-D22	4/1-D22	3-D22	3/3-D22	3-D19	5-D22	5-D22
腹筋	2-D10			2-D10		4-D10		4-D10			4-D10		-	2-D10	
あばら筋	□ - D10@200			□ - D10@150		□ - D10@200		□ - D10@200			□ - D10@200		□ - D10@200	□ - D10@150	

間柱リスト

- 注記) 1. 帯筋の形状はH形
 2. 鉄筋材質 D10~D16 SD295A D19~D25 SD345

符号	P1
基礎断面	
X x Y	500x500
主筋	12-D22
帯筋	□ - D10@100

鉄骨大梁リスト 注記) 1. 鉄骨材質 SN400B H- H形鋼
BH- 溶接組立H形鋼
SH- 外法一定H形鋼

2. 剛接合部の継手は $\left(\frac{H}{G}\right)$ 、ピン接合部の継手は $\left(\frac{H}{S}\right)$ $\left(\frac{H}{D}\right)$ とする。
(鉄骨継手表S030図参照。 $\left(\frac{H}{D}\right)$ はG3、G4、SG22に適用とする。CTの継手は鉄骨詳細図参照)

3. 監督職員と協議のうえSHはBHに変更しても良い

符号	G1, G2		G2A		G3, G4		G5A, G6, G6A, G7, G8		G7A		SG21		SG22		SG23		符号
階	位置	断面	位置	断面	位置	断面	位置	断面	位置	断面	位置	断面	位置	断面	位置	断面	階
北棟 R階			全域	H-350x175x7x11			全域	H-350x175x7x11	全域	H-340x250x9x14			全域	H-350x175x7x11			北棟 R階
南棟 R階	全域	CT-244x300x11x18 (SS400)	全域	H-244x175x7x11	全域	H-340x250x9x14					全域	SH-650x250x12x28					南棟 R階
2階											全域	H-294x200x8x12	全域	H-150x150x7x10			2階

鉄骨梁-RC接合部リスト 注記) 1. 鉄骨材質 SS400 H- H形鋼
2. アンカーボルト 先端フック付き
二重ナット締め

符号	HB20W		SG23, SB15W	
部材	H-200x200x8x12		H-150x150x7x10	
断面				
ベースプレート	B.PL-16x250x250		B.PL-16x180x180	
アンカーボルト	2-M20		2-M16	

鉄骨柱リスト 注記) 1. 鉄骨材質 SN400B H- H形鋼
BH- 溶接組立H形鋼
SH- 外法一定H形鋼

2. 基礎柱 帯筋の形状はH形

符号	C1, C2		C3, C3A, C3B, C5A		C4, C5, C6		SC21	SC22
2F	SH-600x250x12x28		H-250x250x9x14		H-250x250x9x14		-250x250x12(BCR295)	-165.2x7.1(STK400)
1F	SRC柱(SH-600x250x12x28)		SRC柱(H-250x250x9x14)		SRC柱(H-250x250x9x14)		-250x250x12(BCR295)	-165.2x7.1(STK400)
柱脚								
ベースプレート	B.PL-32x320x650(SN490B)		B.PL-16x300x300(SN490B)		B.PL-16x300x300(SN490B)		B.PL-16x300x300(SN490B)	B.PL-16x280x280(SS400)
アンカーボルト	4-M20(SS400)		2-M20(SS400)		2-M20(SS400)		4-M16(SS400)	4-M16(SS400)
基礎柱	SRC柱		SRC柱		SRC柱			
B x D							900x700	
主筋							18-D19(SD345)	
フープ							-D13@100(SD295A)	

鉄骨間柱柱脚リスト 注記) 1. 鉄骨材質 SS400 H- H形鋼

2. アンカーボルト 先端フック付き
二重ナット締め

符号	SP20W(空調目隠し壁)	SP10W	SP12W	SP14	SP15W
部材	H-200x200x8x12	H-100x100x6x8	H-125x125x6.5x9	H-148x100x6x9	H-150x150x7x10
柱脚					
ベースプレート	B.PL-28x250x400(SN490C)	B.PL-12x180x130	B.PL-12x180x155	B.PL-12x180x180	B.PL-16x180x180
アンカーボルト	4-M22(ABR490)	2-M16(SS400)	2-M16(SS400)	2-M16(SS400)	2-M16(SS400)

鉄骨小梁・間柱・ブレースリスト 注記) 1. 鉄骨材質 SS400

H- H形鋼
BH- 溶接組立H形鋼
SH- 外法一定H形鋼
3. $\left(\frac{H}{S}\right)$ $\left(\frac{L}{S}\right)$ はピン接合、 $\left(\frac{H}{G}\right)$ は剛接合を示す。
(鉄骨継手表S030図及び鉄骨詳細図参照)

2. HBは横使いを示す。

符号				部材断面	梁		間柱		備考
小梁	片持梁	間柱	ブレース		ピン接合	剛接合	ピン接合	剛接合	
SB10W		SP10W		H-100x100x6x8	$\left(\frac{H}{S}\right)$		$\left(\frac{H}{S}\right)$		
SB12W, HB12W		SP12W		H-125x125x6.5x9	$\left(\frac{H}{S}\right)$		$\left(\frac{H}{S}\right)$		
SB14, HB14		SP14		H-148x100x6x9	$\left(\frac{H}{S}\right)$		$\left(\frac{H}{S}\right)$		
SB15W, HB15W	CSB15W	SP15W		H-150x150x7x10	$\left(\frac{H}{S}\right)$	$\left(\frac{H}{G}\right)$	$\left(\frac{H}{S}\right)$		
SB19, HB19	CSB19	SP19		H-194x150x6x9	$\left(\frac{H}{S}\right)$	$\left(\frac{H}{G}\right)$	$\left(\frac{H}{S}\right)$		
SB20, HB20		SP20		H-200x100x5.5x8	$\left(\frac{H}{S}\right)$ $\left(\frac{H}{D}\right)$		$\left(\frac{H}{S}\right)$		$\left(\frac{H}{D}\right)$ は目隠しルーバーHB20に適用
SB20W, HB20W	CSB20W	SP20W		H-200x200x8x12	$\left(\frac{H}{S}\right)$	$\left(\frac{H}{G}\right)$	$\left(\frac{H}{S}\right)$		
HB25				H-250x125x6x9	$\left(\frac{H}{S}\right)$				
	CSB25W			H-250x250x9x14		$\left(\frac{H}{G}\right)$			
SB29	CSB29			H-294x200x8x12	$\left(\frac{H}{S}\right)$				
SB30				H-300x150x6.5x9	$\left(\frac{H}{S}\right)$				
SB34				H-340x250x9x14	$\left(\frac{H}{S}\right)$				
SB1, HB1				\square -100x50x5x7.5	$\left(\frac{L}{S}\right)$				
SB5	CSB5			CT-150x150x6.5x9					継手は鉄骨詳細図による。
SB6				CT-244x300x11x18					継手は鉄骨詳細図による。
	CSB15A			BH-100-150x150x6x9					
				1-M16(ターンバックル付)					継手は鉄骨継手表S030図による。
				1-M20(ターンバックル付)					継手は鉄骨継手表S030図による。
				1-M22(ターンバックル付)					継手は鉄骨継手表S030図による。
				2 x FB-90x6					継手は鉄骨継手表S030図による。
				2 x FB-90x9					継手は鉄骨継手表S030図による。
母屋、胴縁				C-100x50x20x3.2					継手は鉄骨詳細図による。
母屋				-100x100x3.2(STKR400)					継手は鉄骨詳細図による。
母屋				L-50x50x4					継手は鉄骨詳細図による。
開口補強 b1				-100x100x3.2(STKR400)					鉄骨継手は母屋・胴縁と同じ

デッキプレート 注記) 1. 板厚については施工時の荷重状況に応じた必要な板厚とする。

捨て型枠用デッキプレート	JIS A 3352の規格品とする。 SGCC(捨て型枠用)
・一般部 配筋はS-006図による 捨て型枠用デッキプレート L: 内法スパン L 2.37m t=0.8mm	・梁接続部 配筋はS-006図による 頭付スタッドボルト フラット型デッキ

項目	型式	剛接合																ピン接合																F1, F2		F3		F4, F5	
		フランジ				ウェーブ				フランジ				ウェーブ				ウェーブ				ウェーブ				フランジ		フランジ											
H形鋼	部材	径	高力ボルト		添板		高力ボルト		添板		フランジ		高力ボルト		添板		高力ボルト		カセットプレート		高力ボルト		カセットプレート		フランジ		フランジ												
細幅	部材	径	数量	継手	t	L	数量	継手	t	L	数量	継手	t	L	数量	継手	t	L	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	(40)2.5d	2.5d(40)											
中幅	H-200x100x5.5x8	M16	4x4	F1	16	100x290	2x4	W3	6x290x140		2x2	W2-a	6x170x140		2	G1-a	9	140	4	G2	9	140																	
	H-250x125x6x9	M16	4x6	F2	12	125x410	2x4	W4	9x290x170		2x4	W4-a	6x290x170		2	G1-a	9	140	4	G2	9	140																	
	H-300x150x6.5x11	M20	4x4	F1	9	150x330 60x330	2x3	W2	6x210x200		2x3	W2-a	6x170x200		3	G1-a	9	200	6	G2	12	200																	
	H-350x175x7x11	M20	4x4	F1	9	150x330 80x410	2x4	W2	6x210x260	(H) に同じ	2x4	W2-a	6x170x260	(H/G) に同じ	4	G1-a	9	260	8	G2-a	12	260																	
	H-400x200x8x13	M20	4x6	F2	9	200x410 80x410	2x6	W4	9x330x260		2x4	W2-a	9x170x260		4	G1-a	9	260	8	G2-a	12	260																	
	H-450x200x9x14	M22	4x6	F2	12	200x410 80x410	2x5	W2	9x230x320		2x5	W2-a	9x170x320		5	G1-a	12	320	10	G2-a	12	320																	
	H-500x200x10x16	M22	4x6	F2	12	200x410 80x410	2x6	W2	9x230x380		2x6	W2-a	9x170x380		6	G1-a	12	380	12	G2-a	12	380																	
	H-600x200x11x17	M22	4x6	F2	12	200x410 80x410	2x7	W2	12x230x440		2x7	W2-a	9x170x440		7	G1-a	12	440	14	G2-a	12	440																	
	H-148x100x6x9	M16	4x4	F1	16	100x290	2x3	W1	9x410x80		2x2	W1-a	6x290x80		2	G3	9	80	2	G3	9	80																	
	H-194x150x6x9	M20	4x4	F1	9	150x330 60x330	2x2	W2	6x210x140		2x2	W2-d	6x230x140		2	G1-a	9	140	4	G2-a	12	140																	

F1, F2
()内はF2を示す
外面添板を分割する場合

F3

F4, F5
()内はF5を示す

プレート幅及び長さはフランジ内側添板と寸法とし、厚みは外、内側とも表中の t 1 の 2 サイズアップとする。

W1, W1-a, W1-b
<70> (40) 2.5d 2.5d (40)

W2, W2-a, W2-b, W2-d
[]内はW2-dを示す
<<70>> [70] <70> (40) 2.5d 2.5d (40) [40]

W3, W4, W3-a, W4-a
()内はW4-aを示す
<<40>> [40] <40> 2.5d 2.5d <40> [40] <<40>>

a付の場合はしあきは<>内寸法とする。

G1
()内はG1-aを示す

G2
()内はG2-aを示す

G3

形鋼ゲージ	A	g 1	g 2	A	g 1	g 2
	100	60	-	249 - 255	150	-
	124, 125	75	-	299 - 305	150	40
	149, 150	90	-	348 - 357	140	70
	174 - 176	105	-	398 - 408	140	90
	199 - 204	120	-			

項目	型式	一般																ブレース用																つづりボルト		G1, G2		G3	
		高力ボルト				カセットプレート				高力ボルト				カセットプレート				高力ボルト				カセットプレート				高力ボルト				カセットプレート				高力ボルト		カセットプレート			
部材記号	呼称	部材	径	数量	継手	厚さ	最小 L	数量	継手	厚さ	最小 L	数量	継手	厚さ	最小 L	数量	継手	厚さ	最小 L	数量	継手	厚さ	最小 L	数量	継手	厚さ	最小 L	径	形状										
山形鋼	L-50x6	L- 50x 50x 6	M16	2	G1	9	105	4	G4	6	143	2	G1	6	80															450									
	L-65x6	L- 65x 65x 6	M20	3	G2	12	139	6	G5	9	209	3	G2	6	139	M16	5	G2	9	278	5	G2	6	278						600									
	L-75x6	L- 75x 75x 6	M20	4	G2	12	208	8	G5	9	288	4	G2	6	208	M16	5	G2	12	278	4	G2	6	208						700									
	L-75x9	L- 75x 75x 9																													700								
	L-90x7	L- 90x 90x 7	M20	4	G2	12	208	8	G5	9	308	4	G2	9	208	M20	5	G2	12	278	5	G2	6	278						850									
	BR11	FB- 90x6	FB- 90x6														M20	3	G2	12	278										650								
BR12	FB- 90x9	FB- 90x9														M20	3	G2	12	278										650									

つづりボルト

つづりボルト

つづりボルト

項目	型式	高力ボルト								カセットプレート								高力ボルト				カセットプレート									
呼称	部材	径	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	数量	継手	厚さ	L	
溝形鋼	C-100x5	C- 100x 50x 5x7.5	M16	2	G1	9	90	4	G1	12	90	1-M20	750																		
	C-125x6	C- 125x 65x 6x8	M20	2	G1	9	90	6	G1	16	90	1-M20	950																		
	C-150x6.5	C- 150x 75x 6.5x10	M20	2	G2	6	130	6	G2	16	130	2-M20	1000																		
	C-180x7	C- 180x 75x 7x10.5	M20	2	G3	9	150	8	G3	19	150	2-M20	1000																		
	C-200x7.5	C- 200x 80x 7.5x11	M20	3	G4	9	180	10	G4	22	180	2-M20	1150																		
C-250x9	C- 250x 90x 9x13	M20	3	G3	9	230	12	G3	22	230	2-M20	1250																			

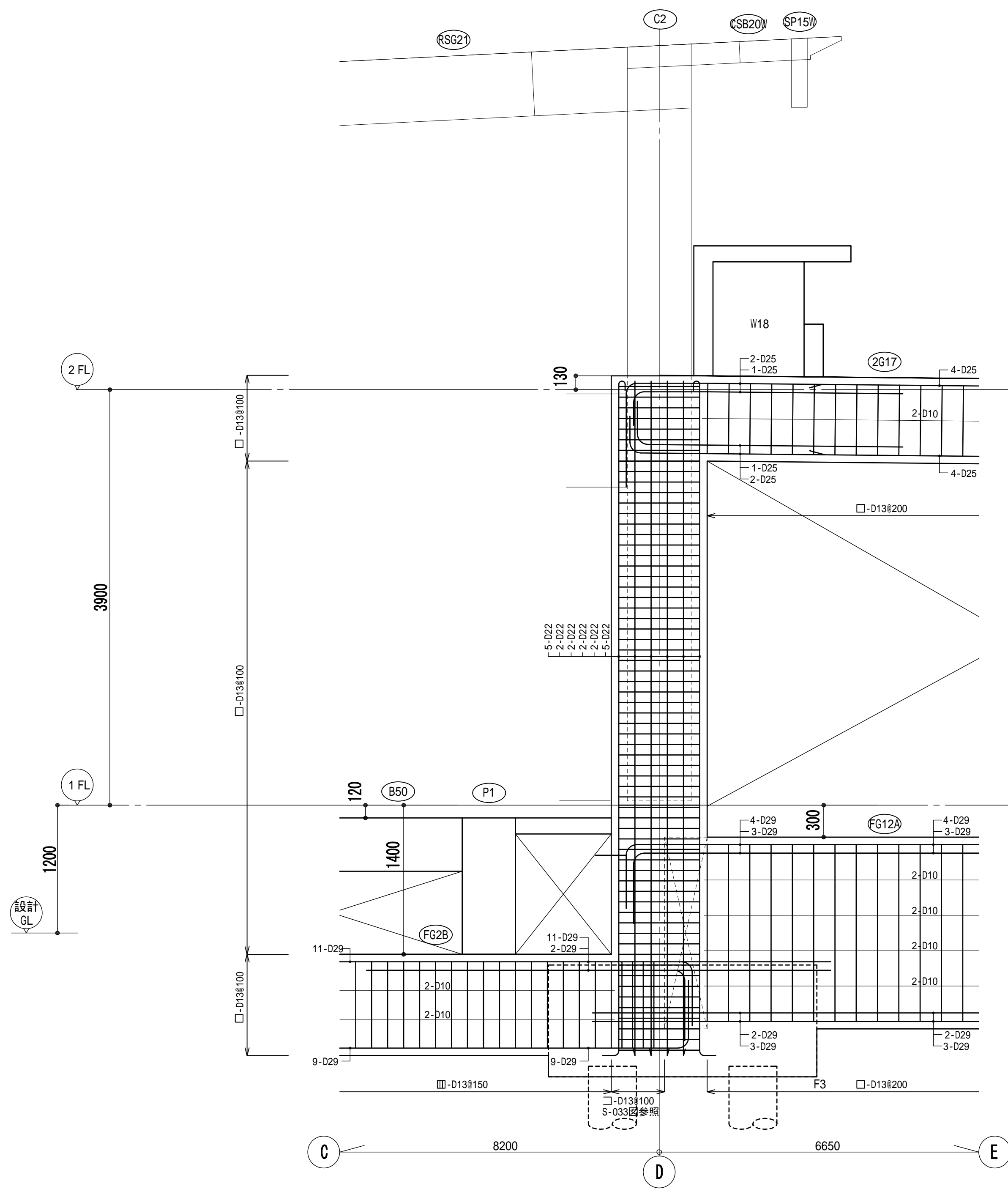
つづりボルト

つづりボルト

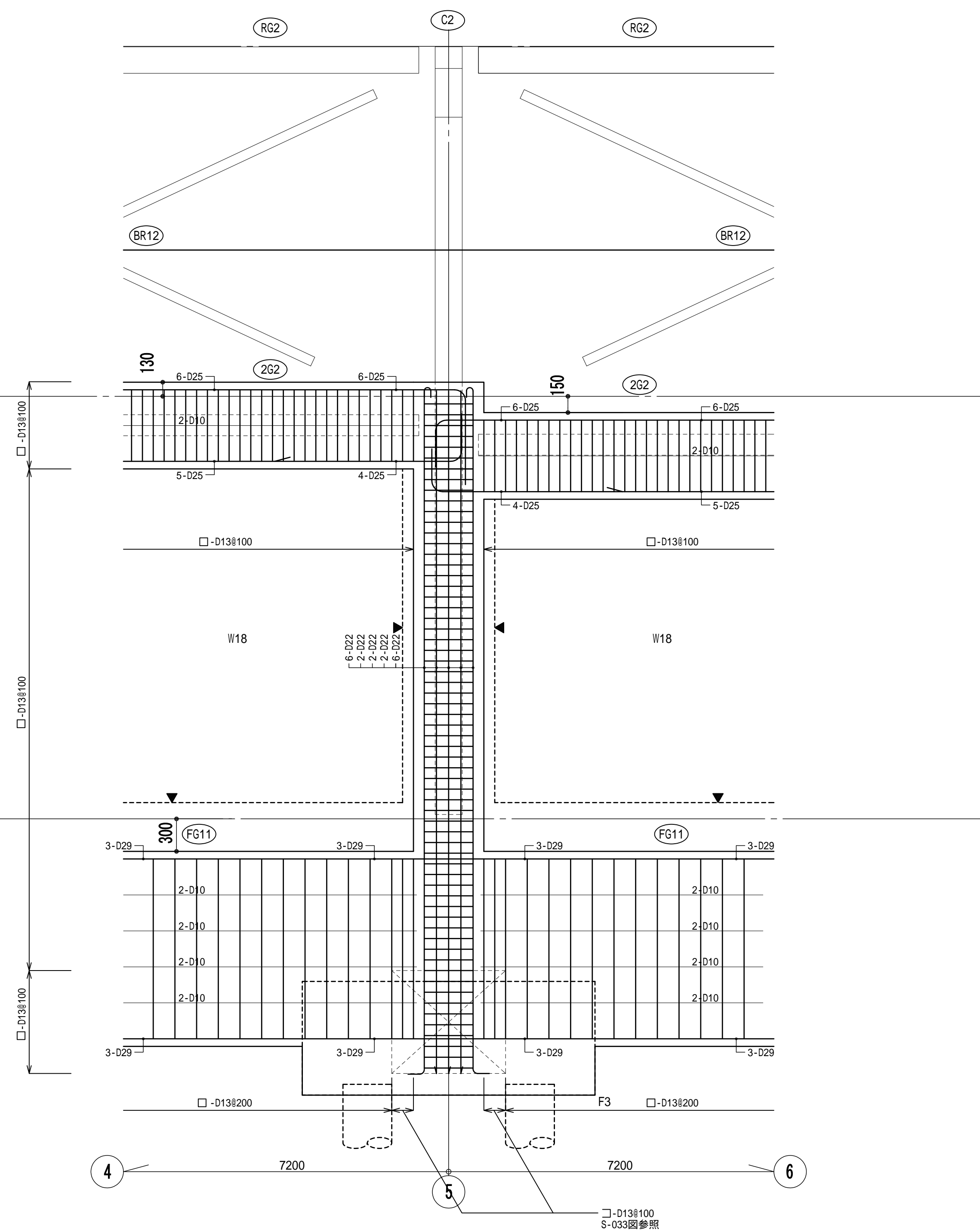
つづりボルト

部材記号	部材	G.P.L t x w	羽子板 H.T.B	はしあき		溶接長 L	B	P
				e1	e2			
M12	6	4.5 x 38	1-M12	35	47	40	60	-
V1, BR1	M16	9	6 x 50	1-M16	45	59	75	-
V2	M20	9	9 x 65	2-M20	50	66	75	85
V3	M22	9	9 x 75	1-M22	55	73	85	-

M16 - M22 2の場合

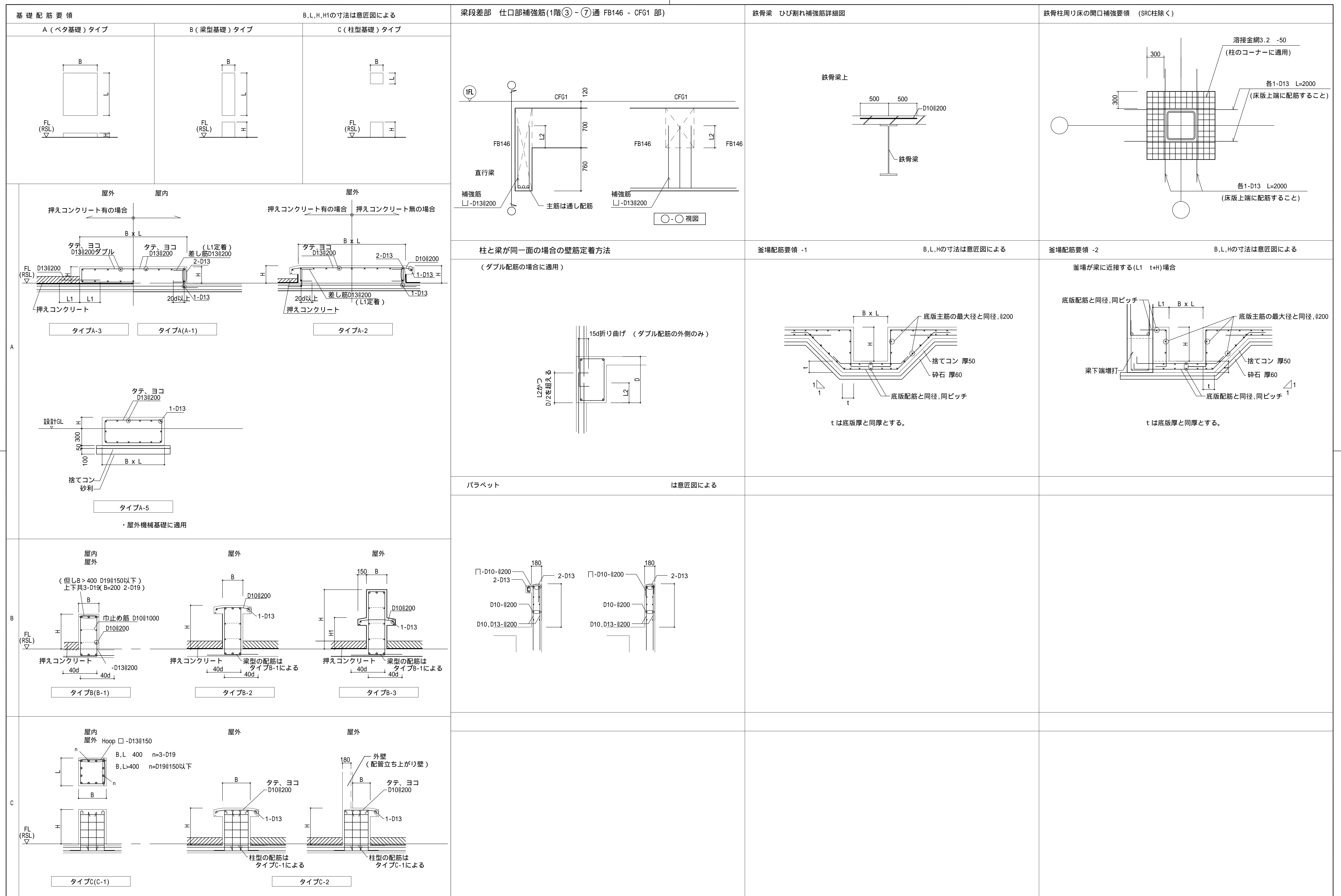


5 通 架 構 配 筋 図

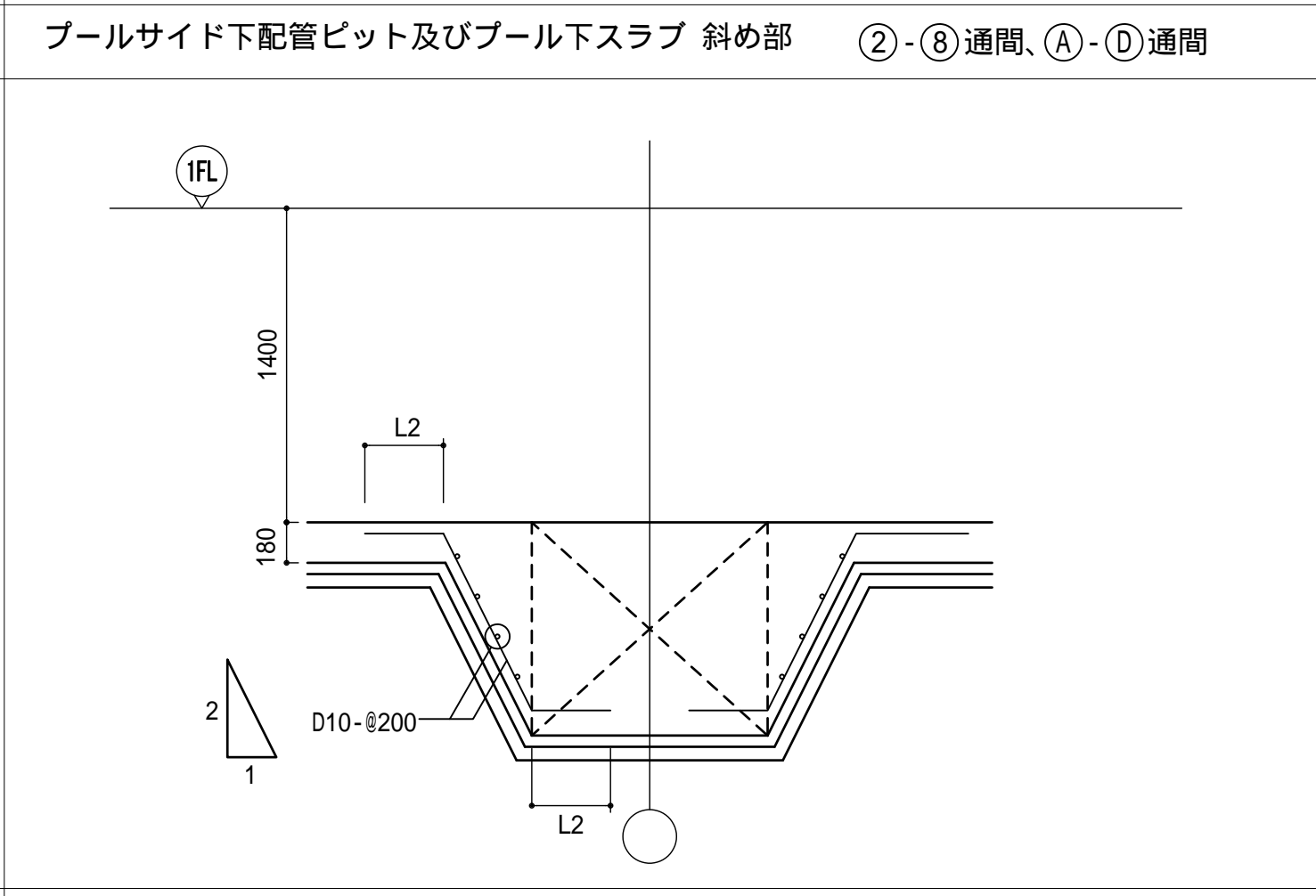
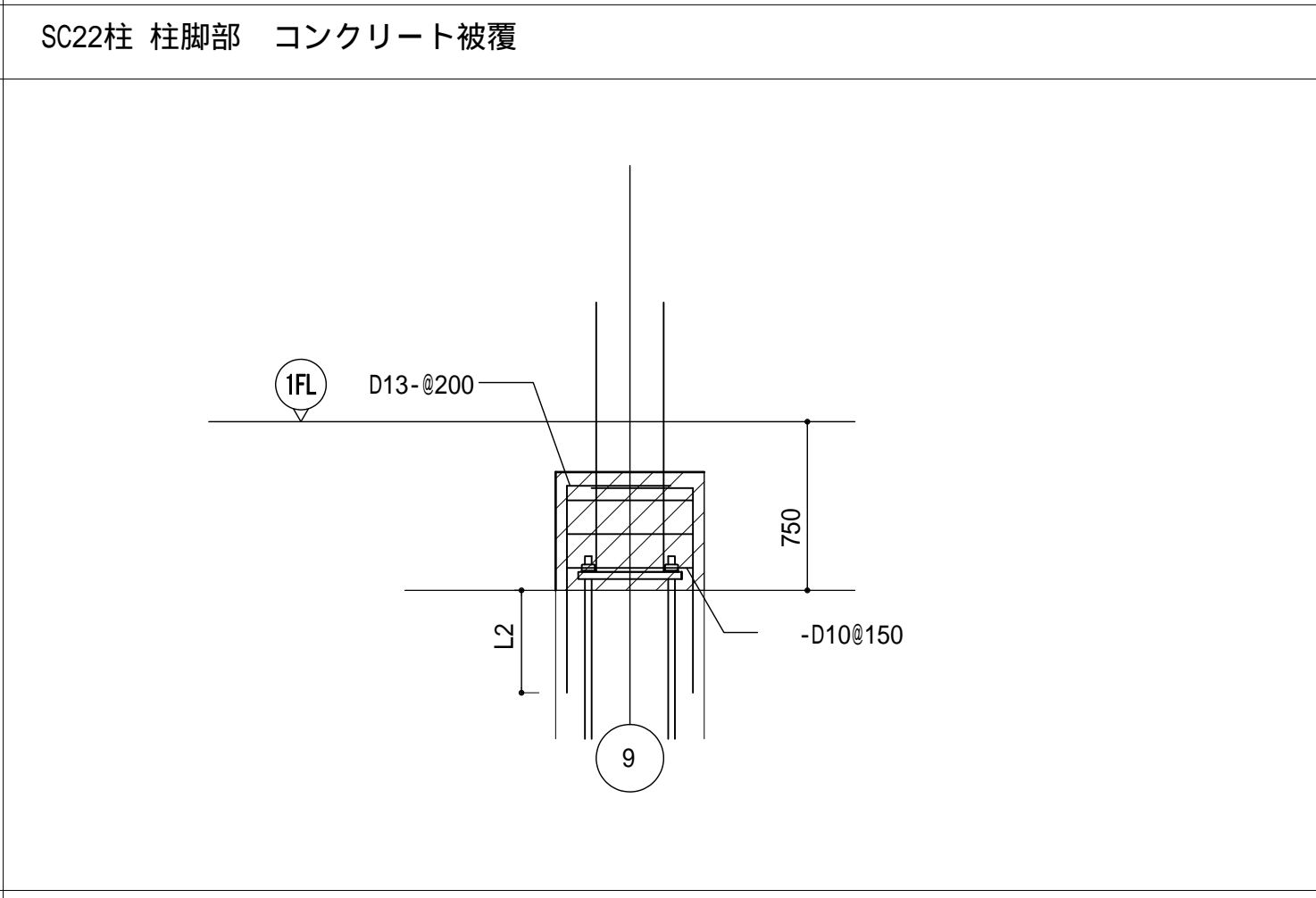
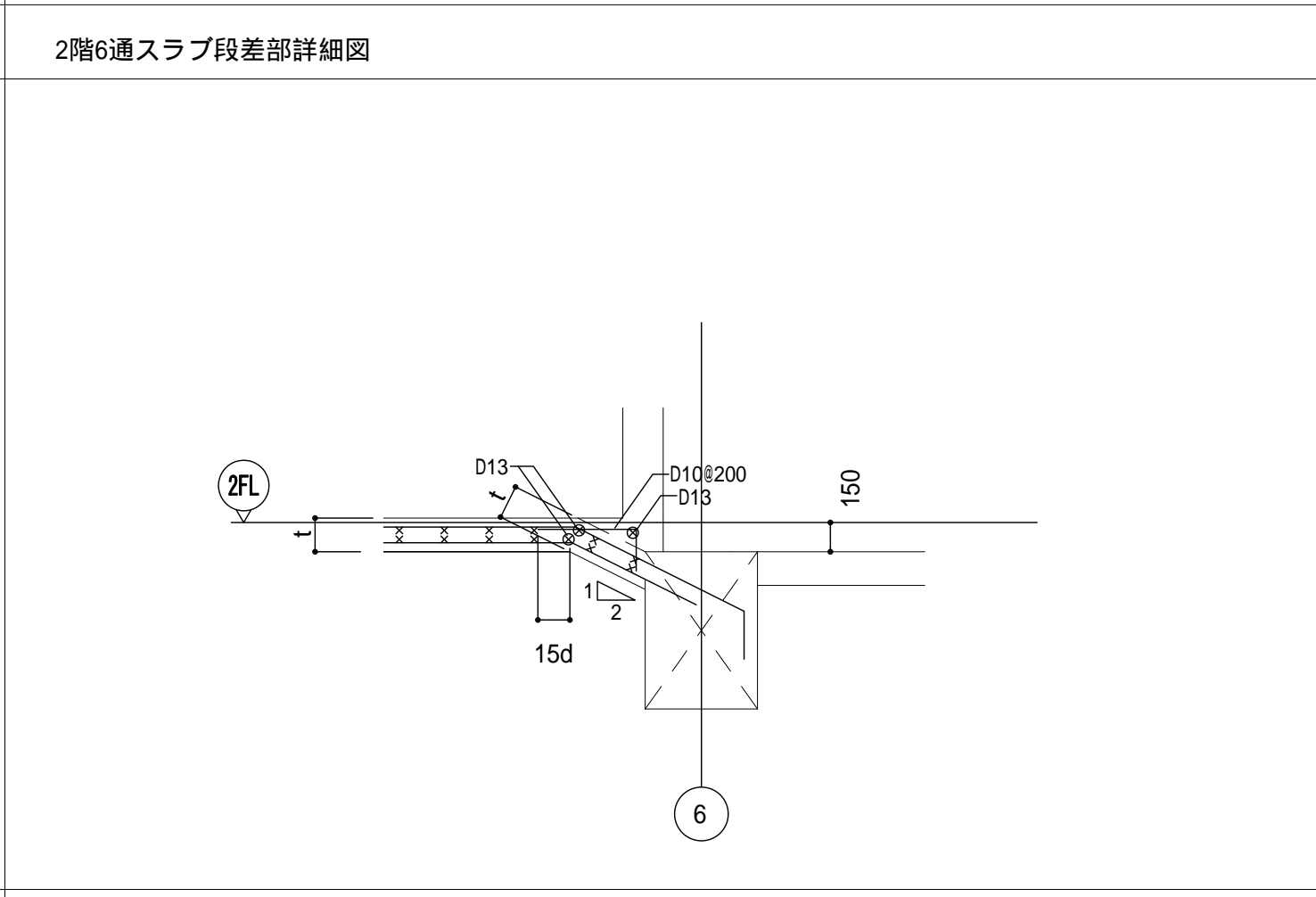
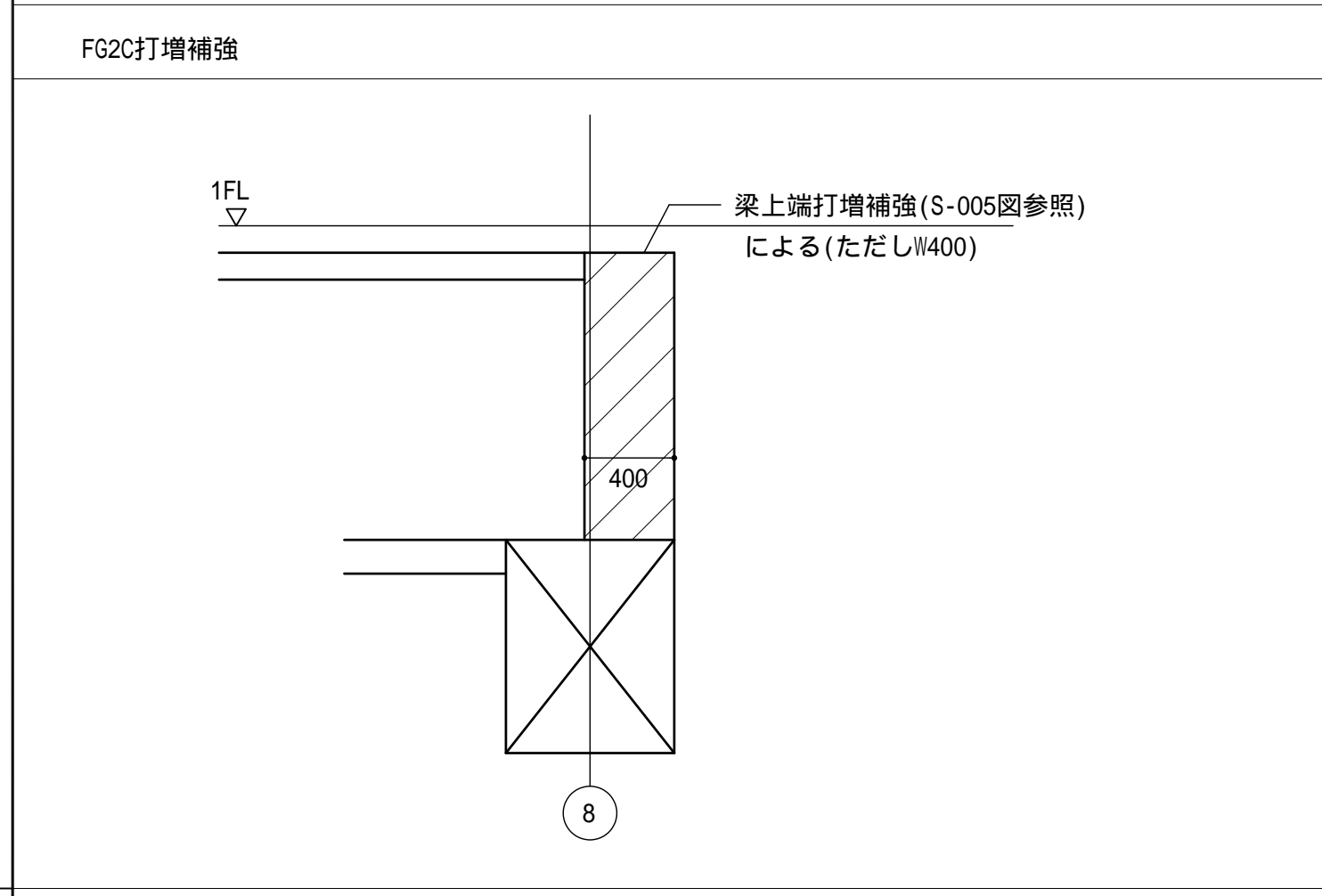
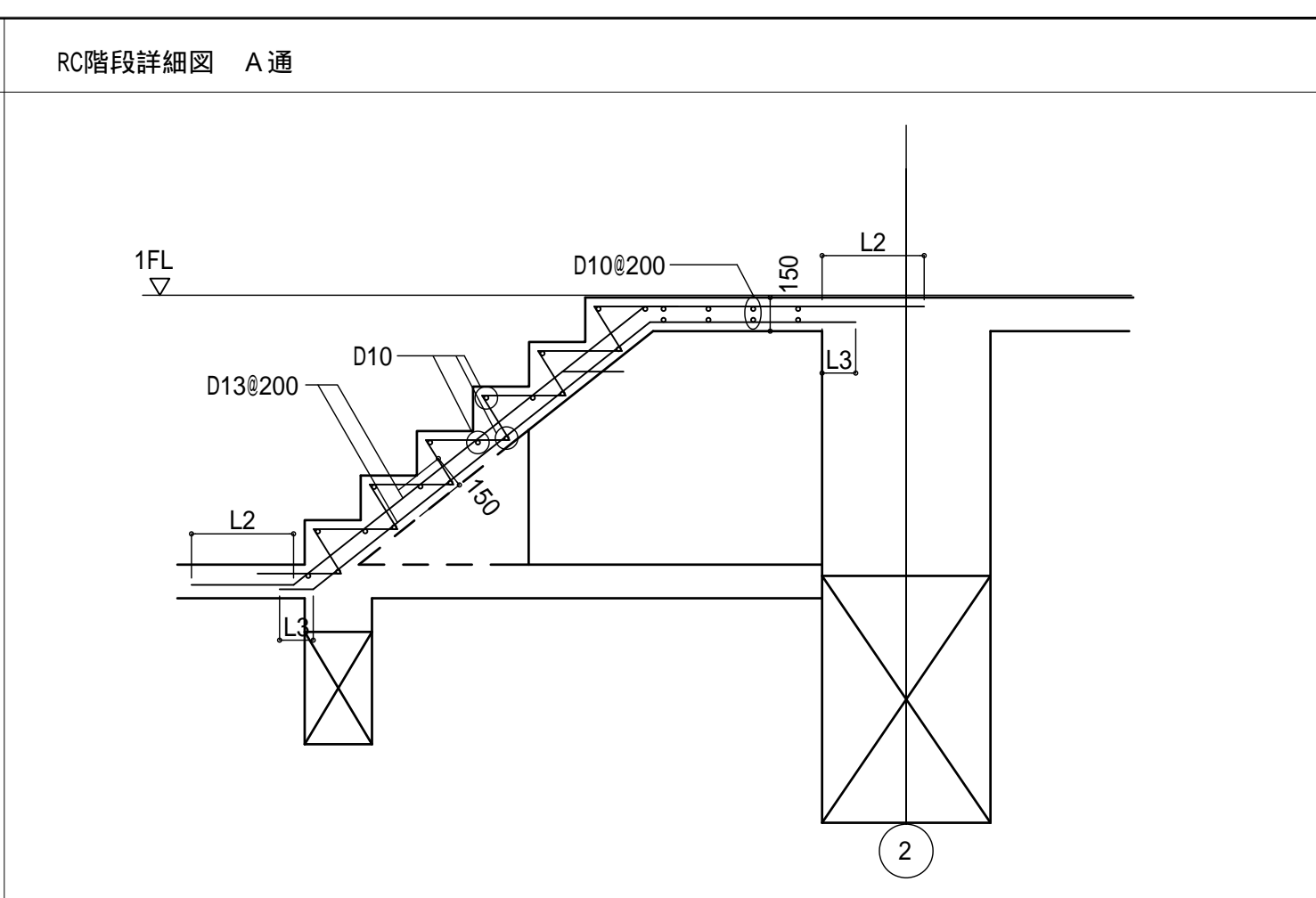
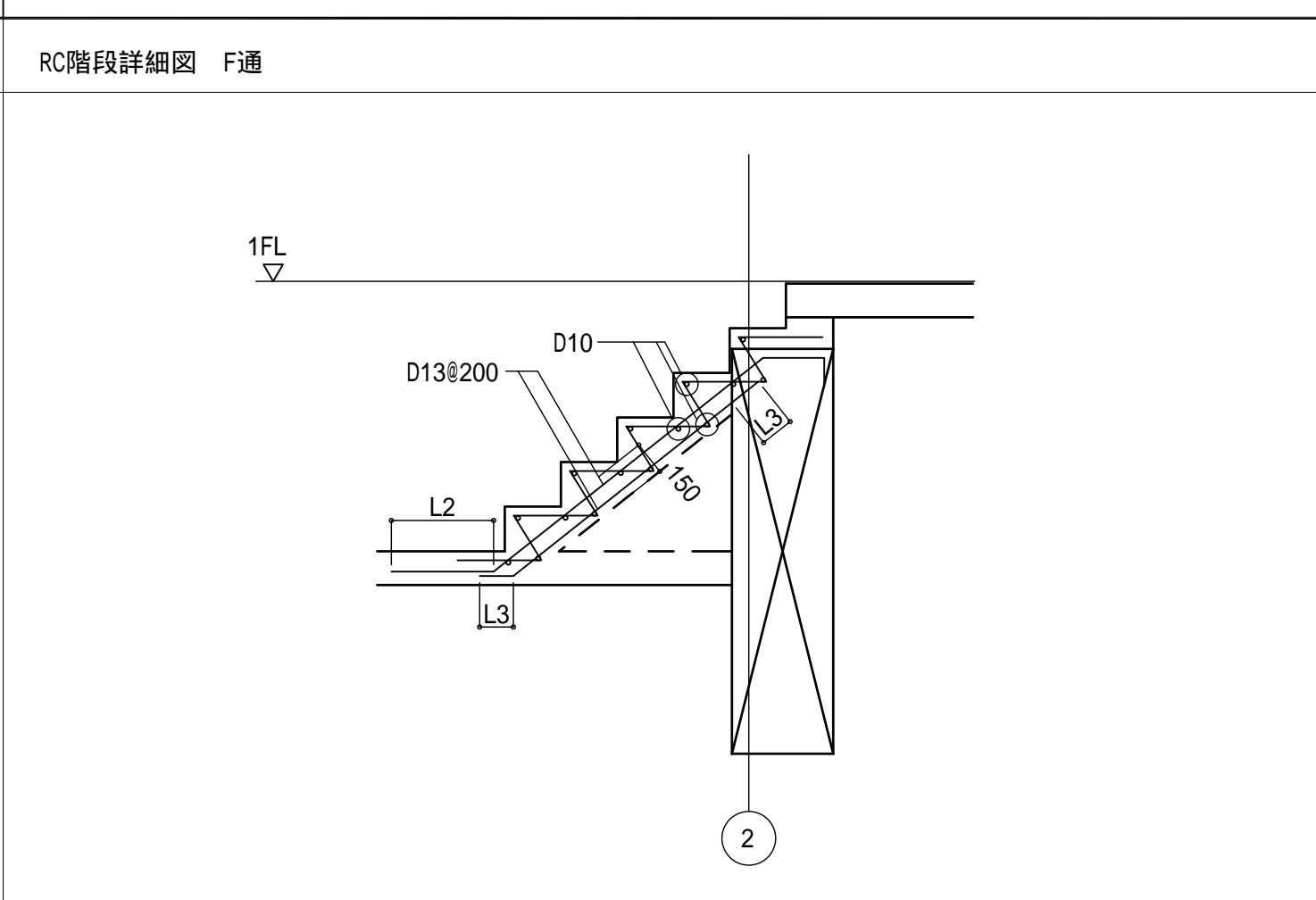
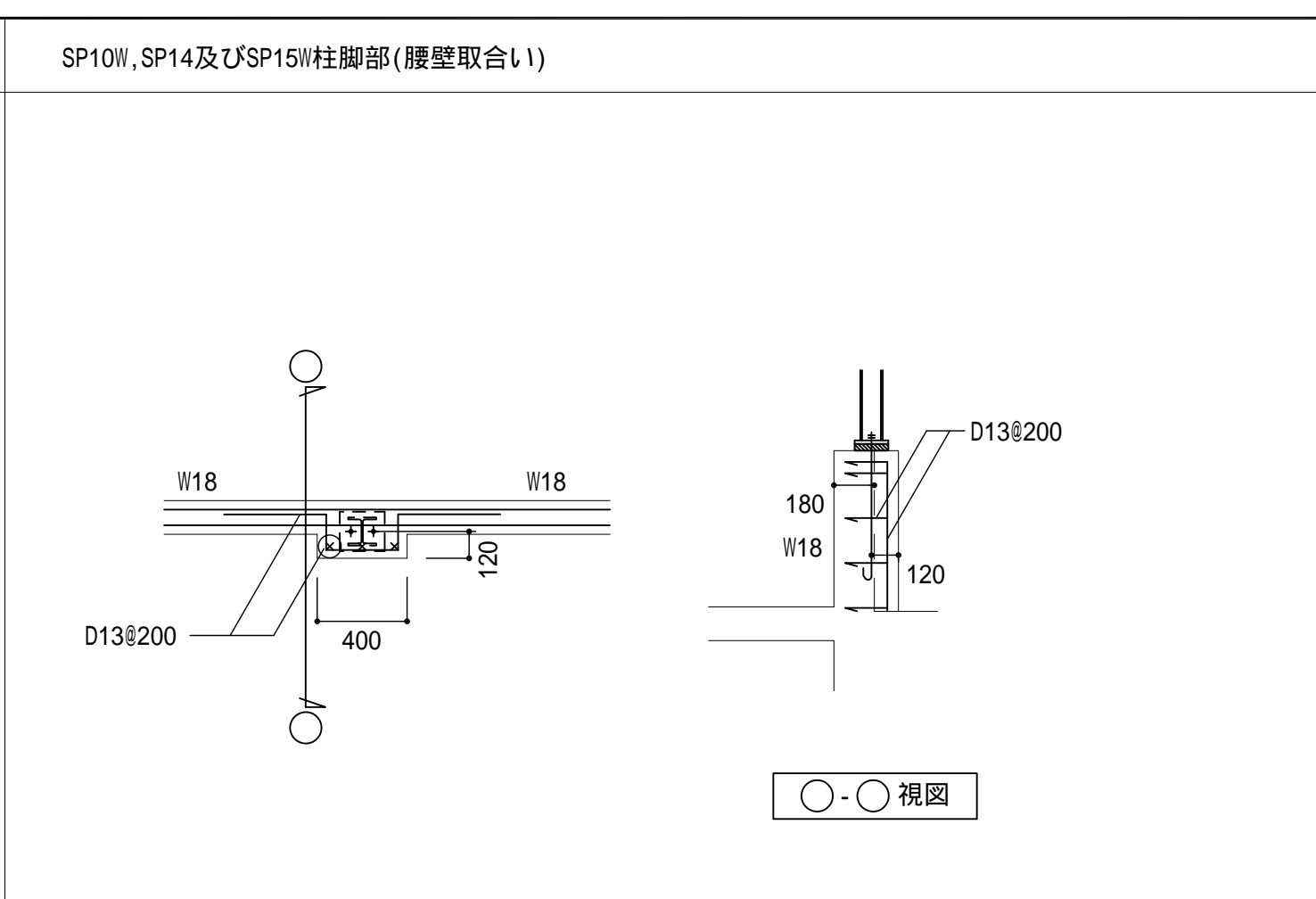
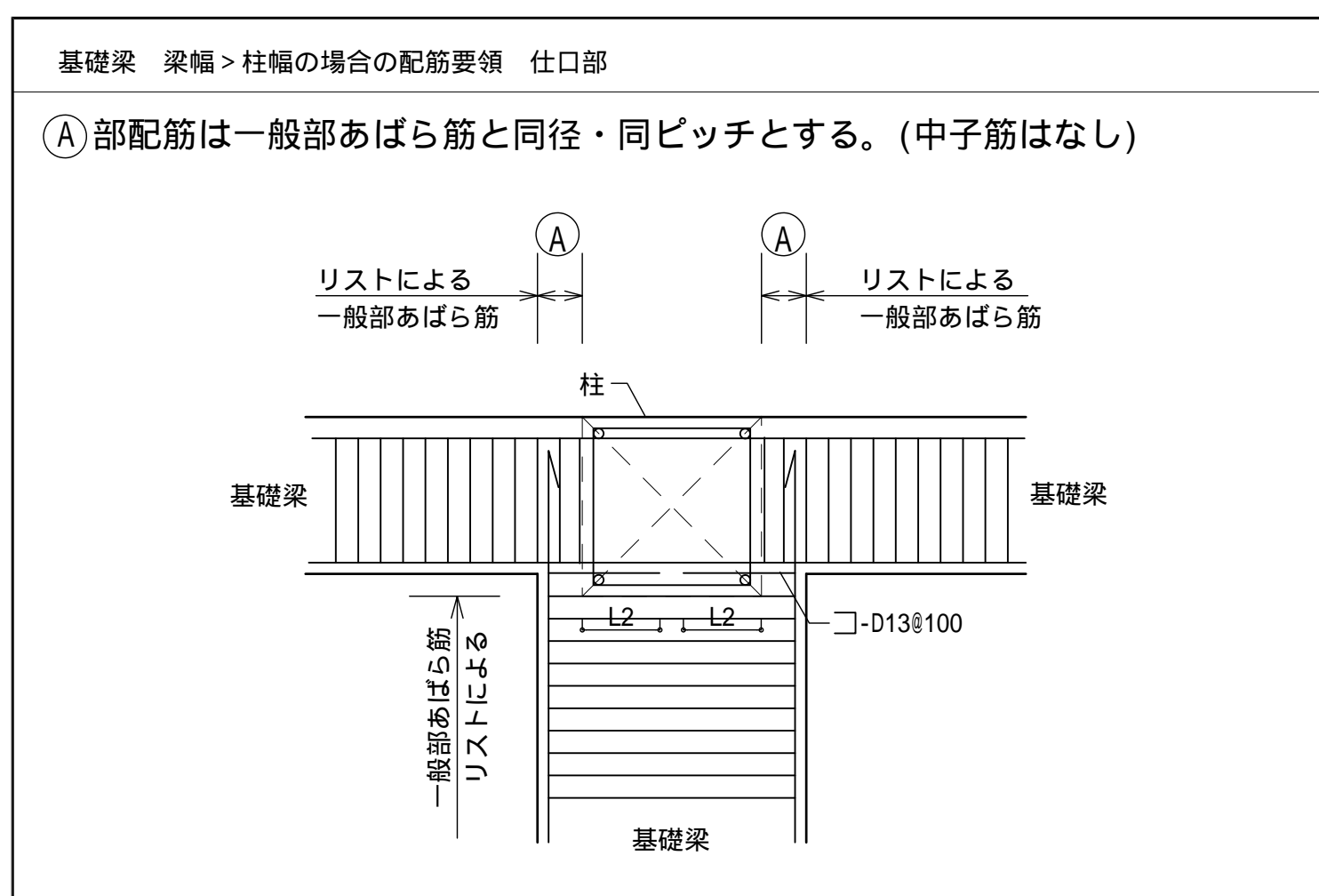


D 通 架 構 配 筋 図

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253 一級建築士 NO.286010 小柳 英治	作成日 2021.03 一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	種別/備考 担当	工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 架構配筋図 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	図面番号 S-031
	設計 GL				



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-032
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 雑配筋図 その1 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	



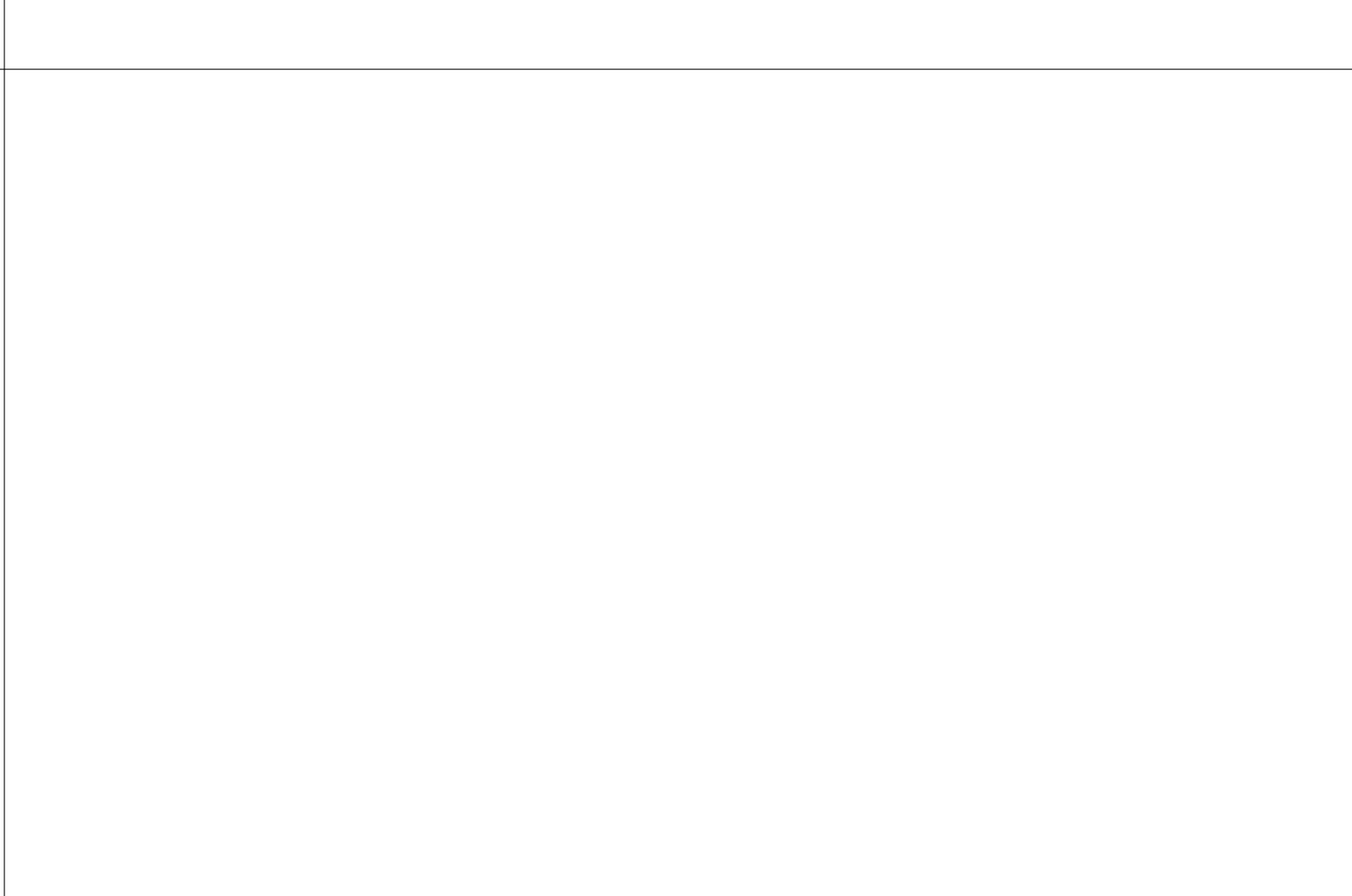
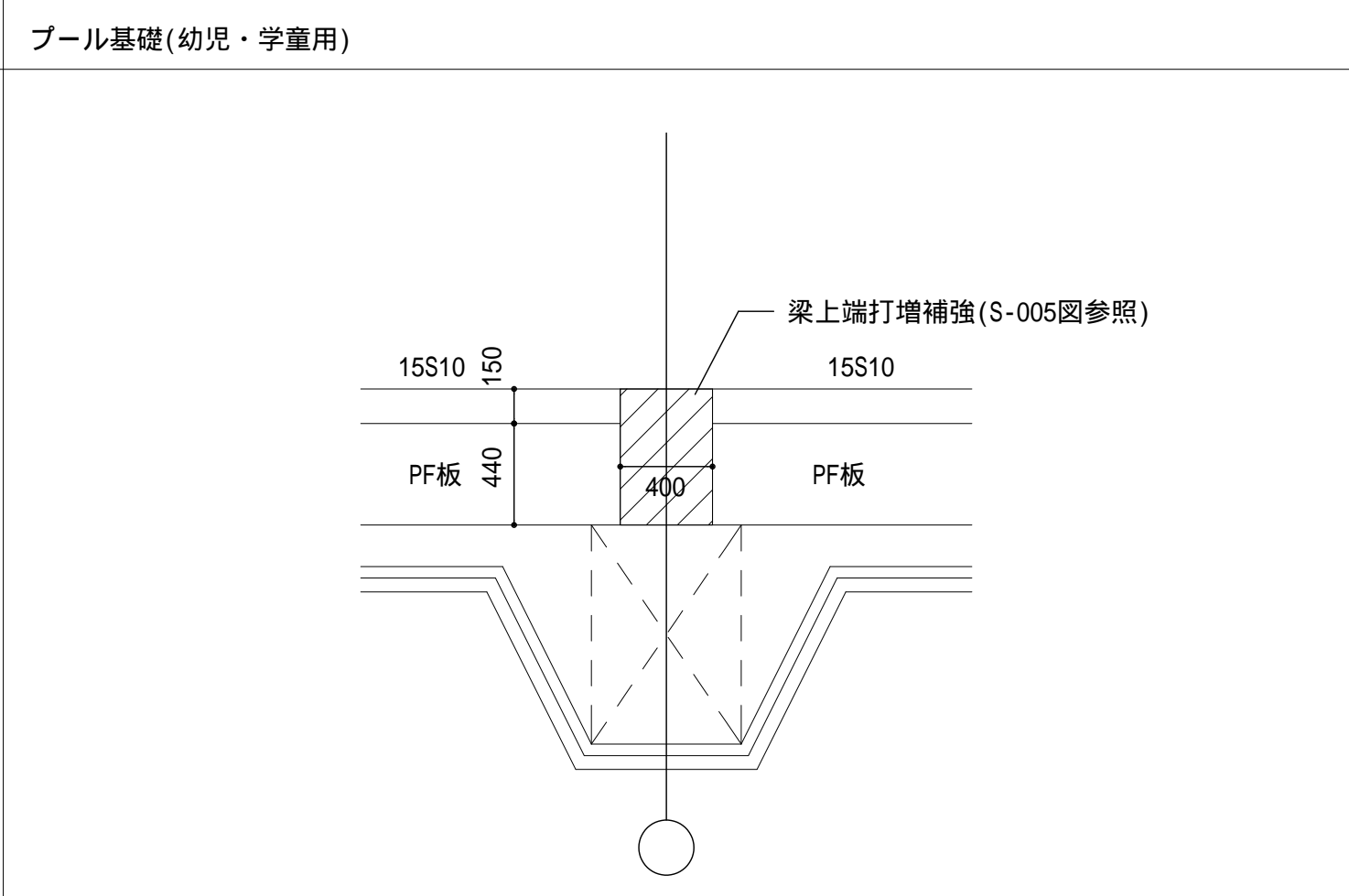
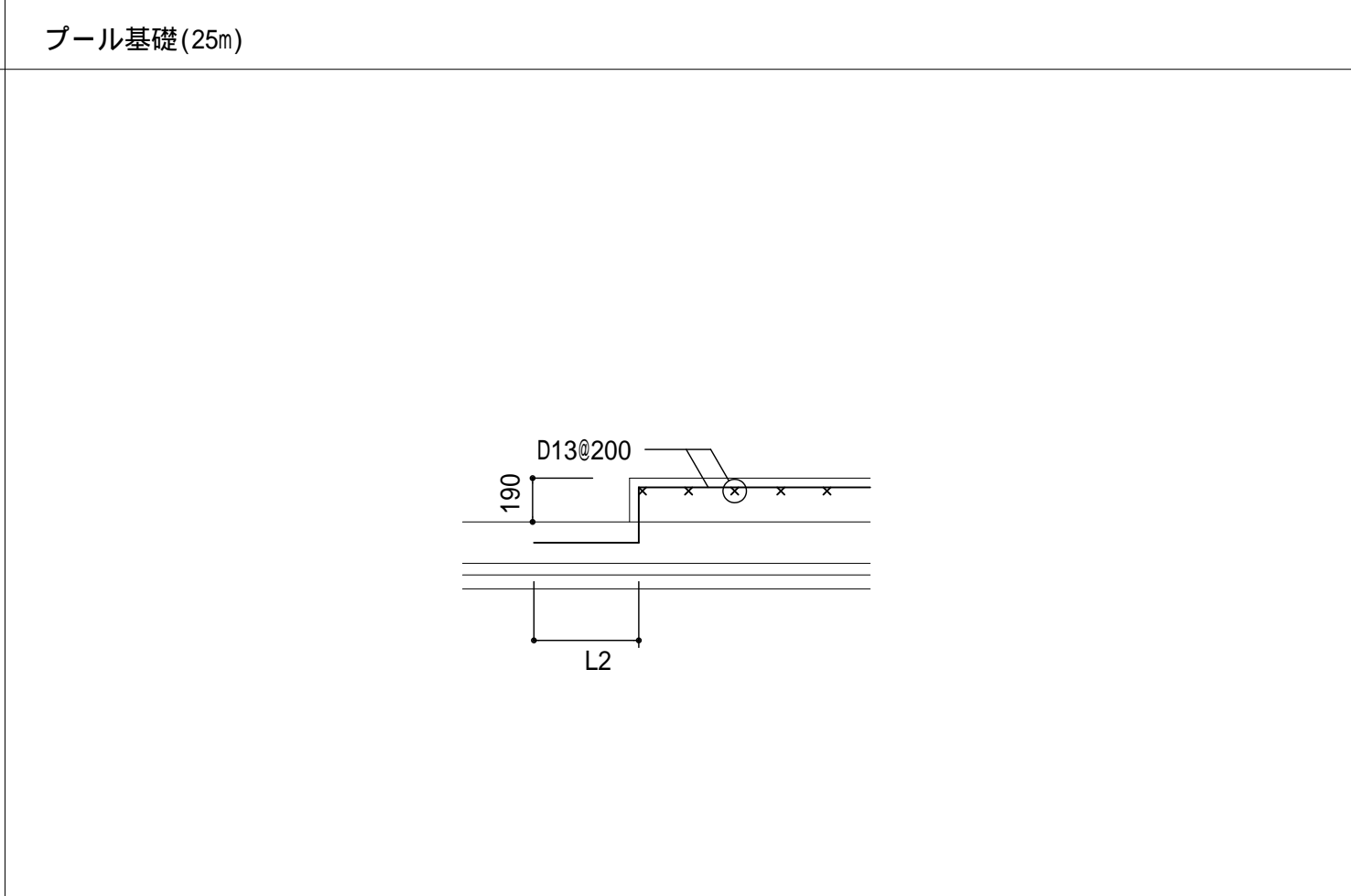
設備開口リスト

壁開口リスト
軸組図で作図している以外の壁の設備壁開口を以下に示す。

部位	寸法	箇所数
W18	250	12
	300	34
	500 × 200	1

床開口リスト
設備床開口を以下に示す。

部位	寸法	箇所数
15S11	250	2
	300	15
	350 × 350	2
	500 × 500	4
	600 × 350	2
	1000 × 600	2
	700 × 200	1
	300 × 200	1
850 × 850	5	



1. ピン接合

イ: 取付小梁のウェブと同厚・同材質
 □: G.PL及びPL-Iと同厚・同材質
 注記)隣接する小梁間隔が300以下の場合PL-Iは省略する

2. 剛接合

・E=0

3. 胴縁・母屋

取付ベースにプレートを使用する場合は、PL-6とする。
 ボルトは全てM12(中ボルト)とする。
 座金は緩み止め仕様とする。

母屋・胴縁 C形鋼
 (1) H 150

母屋・胴縁 C形鋼
 (2) H > 150・プレートを使用する場合

母屋・胴縁 角形鋼管

4. デッキスラブ端部補強要領

小口は、上端筋を折り曲げる事。

5. 梁継手回りデッキ受け詳細図

6. スタッドボルト

鉄骨梁の頭付スタッドボルトは下記による
 (S造梁でコンクリート床部分に適用する)

断面	一般部(左記以外)	
	B<250	250 B<350
フランジ巾	B<250	250 B<350
頭付スタッドボルト	1-19 φ300	2-19 φ300
ボルト長さ L	110	110

7. 鉄骨梁継手-母屋詳細

○部 断面図

8. 仕口詳細図(角形鋼管柱)

PL-1,2の板厚: 取合う柱フランジの最大板厚かつ、梁フランジの最大板厚の2サイズ(通しダイヤフラム) アップかつ、16mm以上とする。
 材質: SN490C

PL-3の板厚: 取合う梁フランジの最大板厚の2サイズアップかつ、16mm以上とする。
 (内ダイヤフラム) 材質: SN490B

板厚は下記を標準とする。

板厚	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
----	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----

・柱、梁のフランジ・ウェブの板厚は上表の標準板厚に読み換える
 凡例: PL-13の2サイズアップ PL-22

9. 仕口詳細図(H形鋼柱)

○部 断面図

(通しダイヤフラム)
 PL-1の板厚: 取合う柱フランジの最大板厚以上かつ、梁フランジの最大板厚の2サイズアップかつ、16mm以上とする。
 材質: SN490C

(フランジプレート)
 PL-2の板厚: 取合う柱フランジ厚と同厚とする。
 材質: 取合う柱、梁と同材質とする。(柱と梁で異なる場合は高材質)

(ウェブプレート)
 PL-3,4の板厚: 取合う柱、梁ウェブの最大板厚と同厚とする。
 材質: 取合う柱、梁と同材質とする。(柱と梁で異なる場合は高材質)

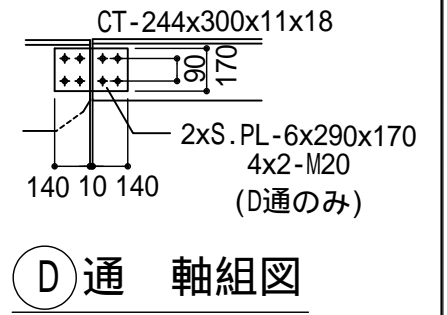
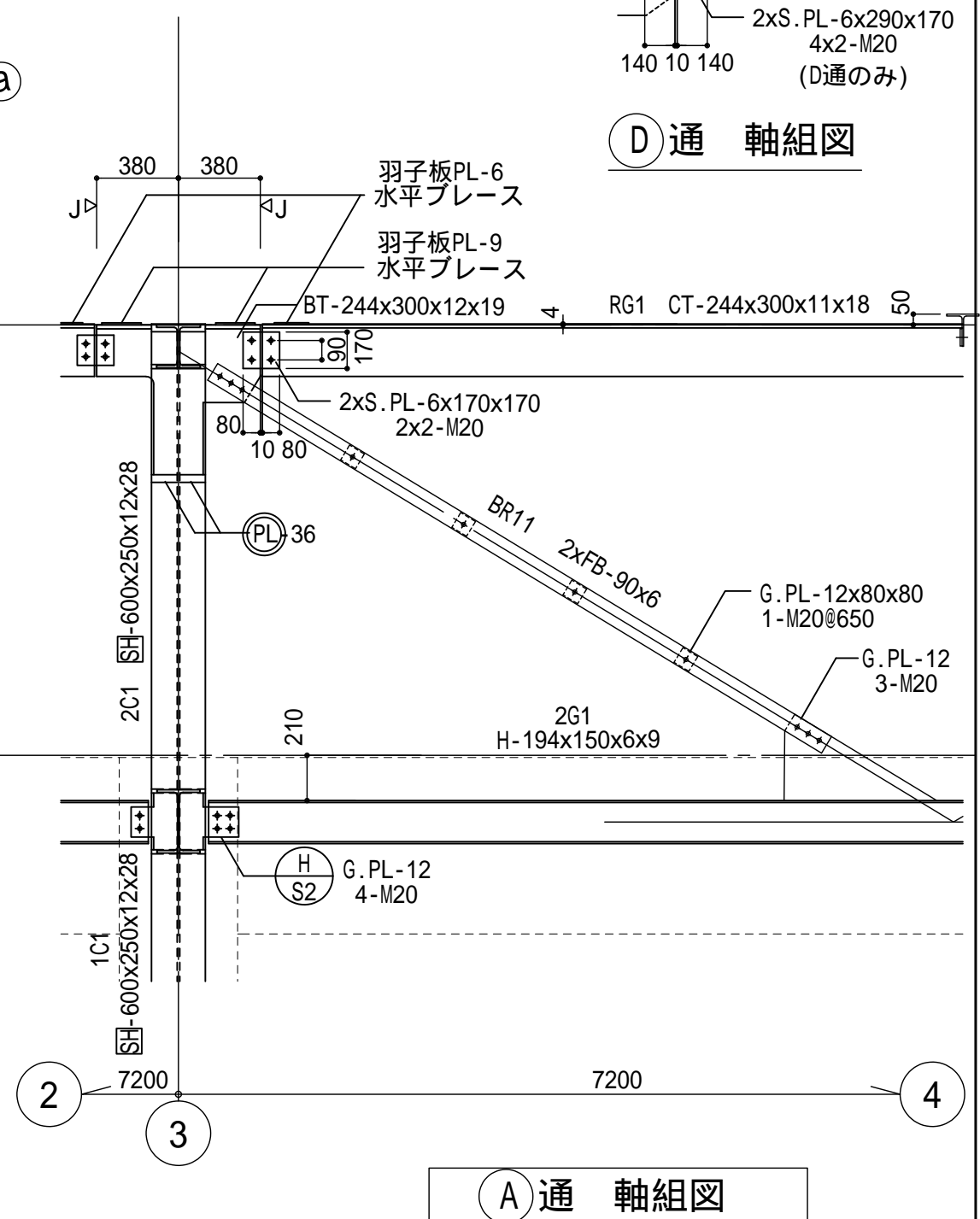
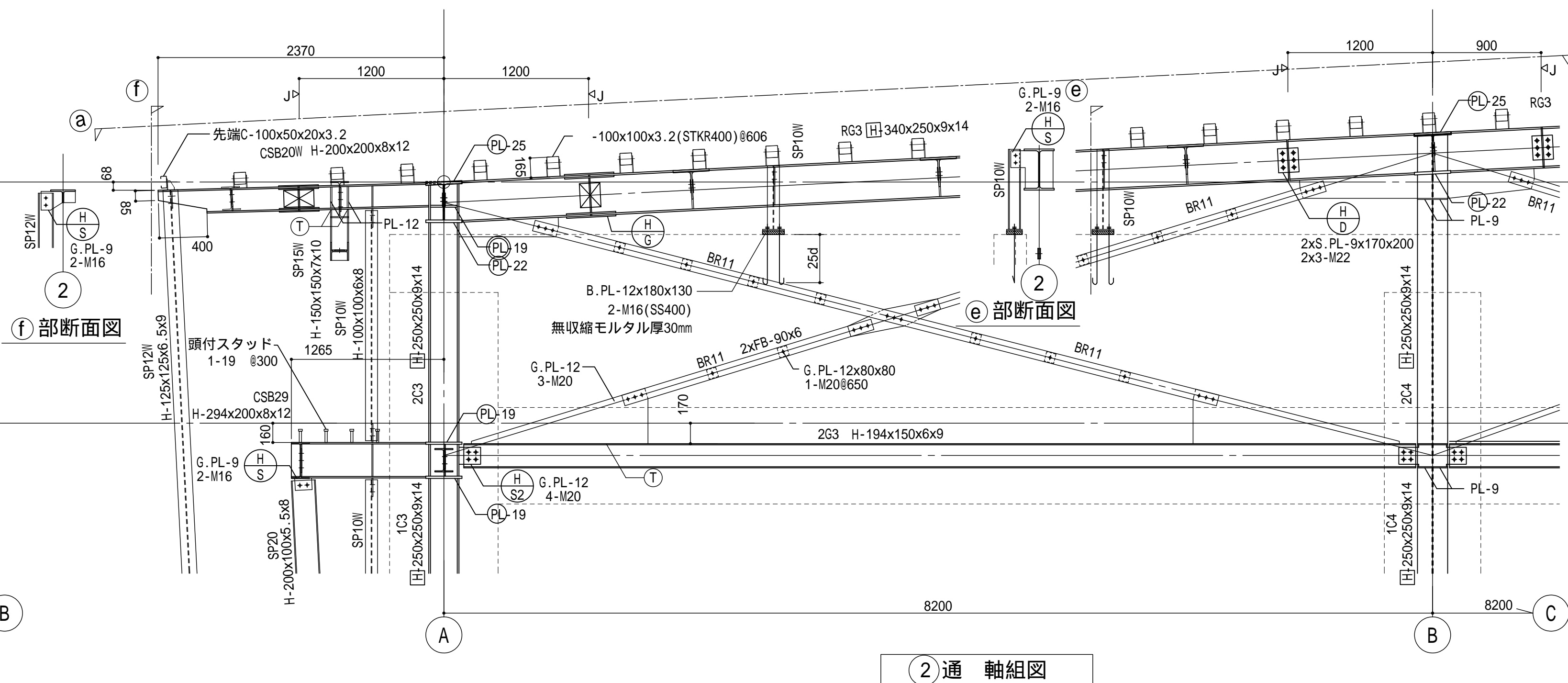
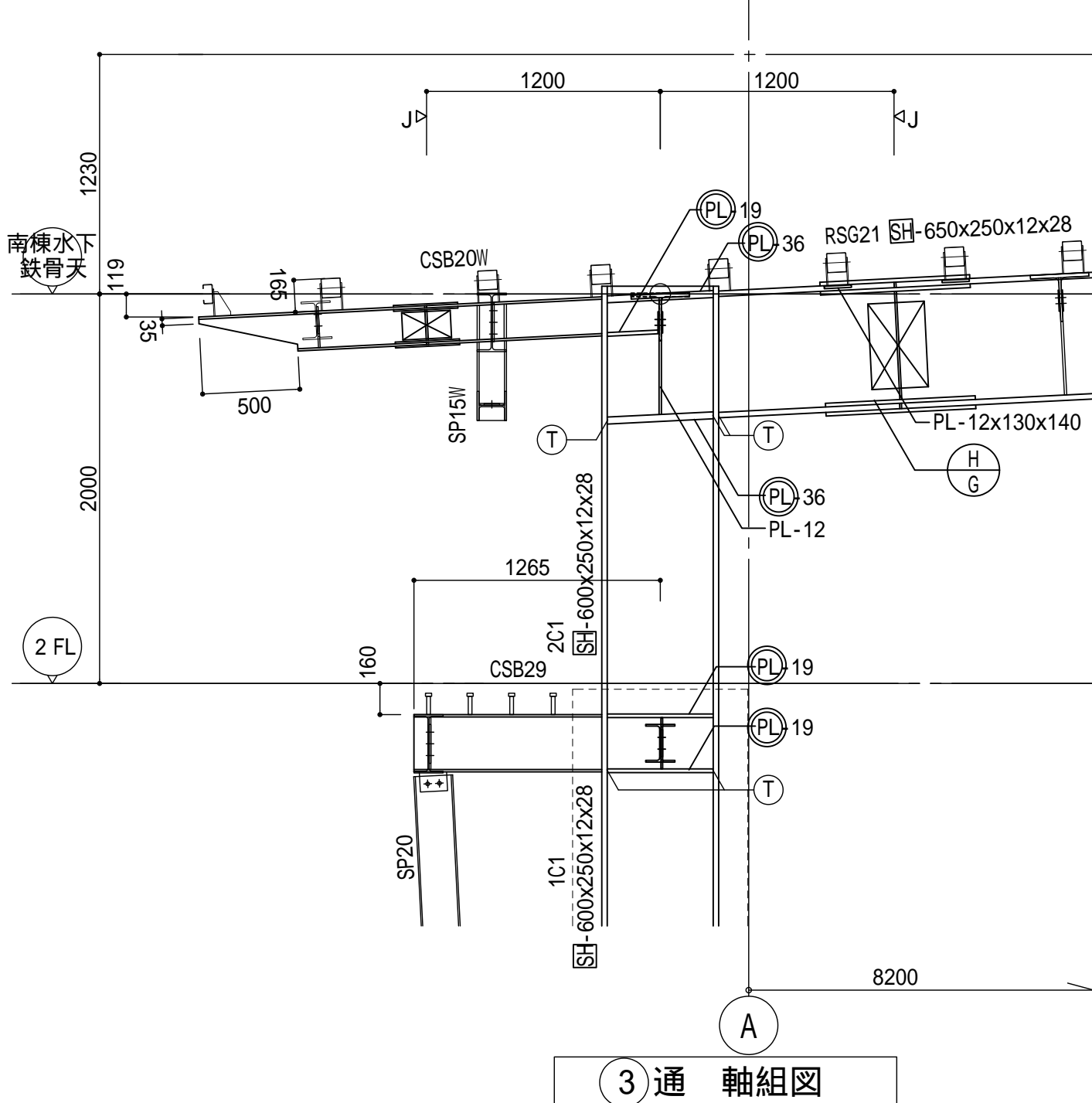
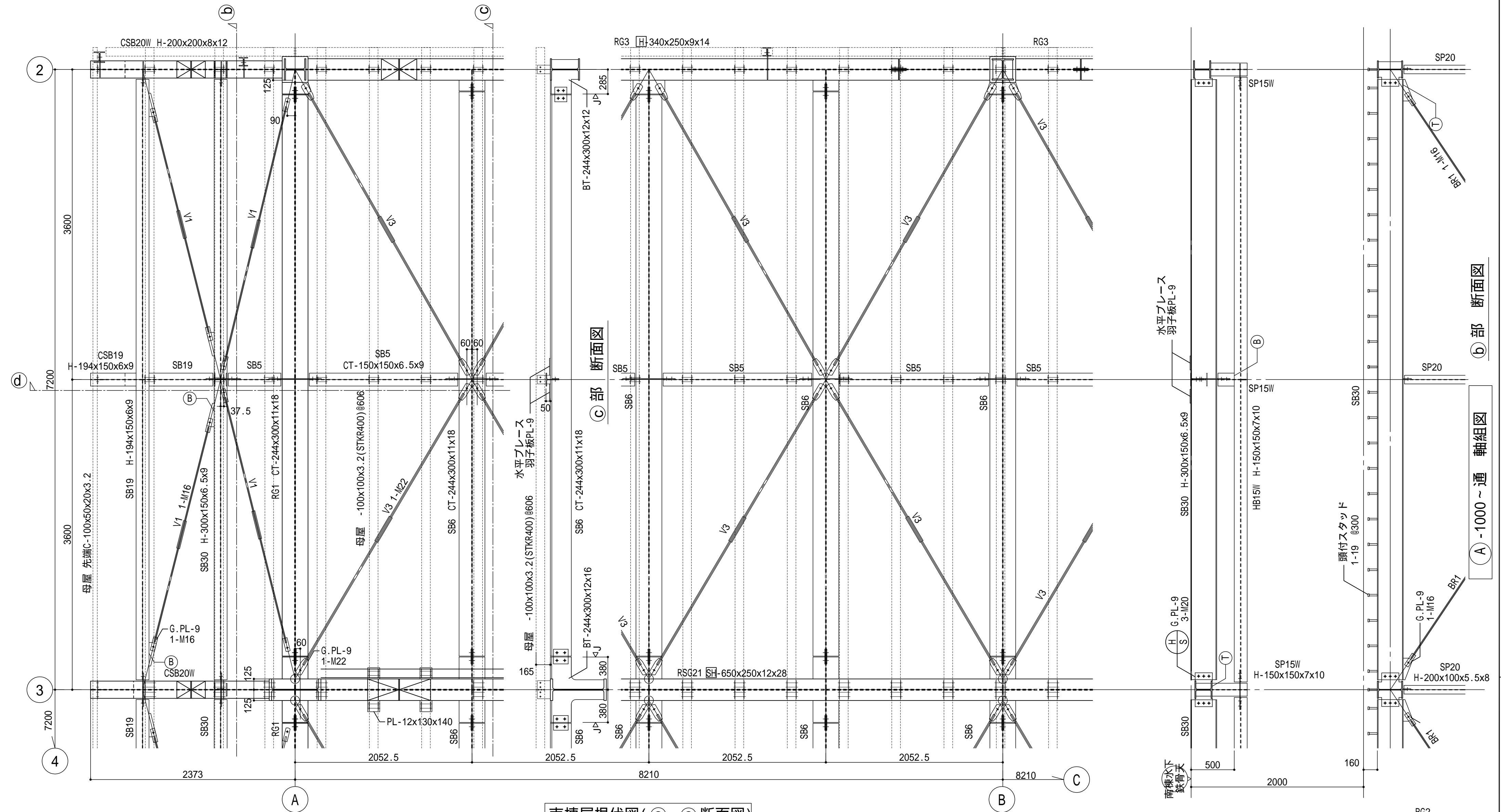
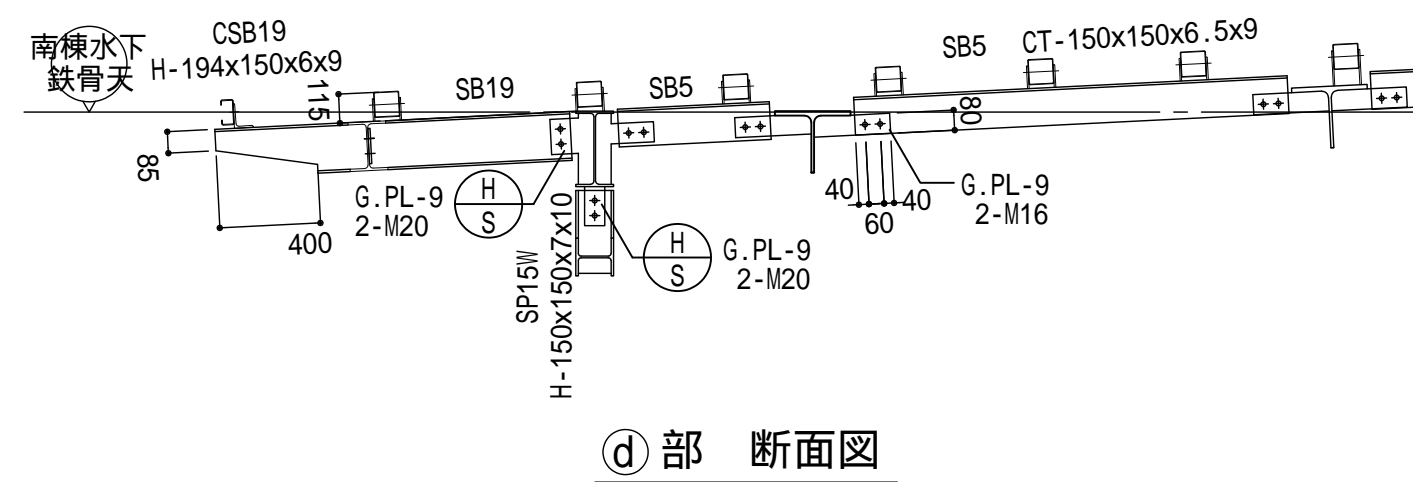
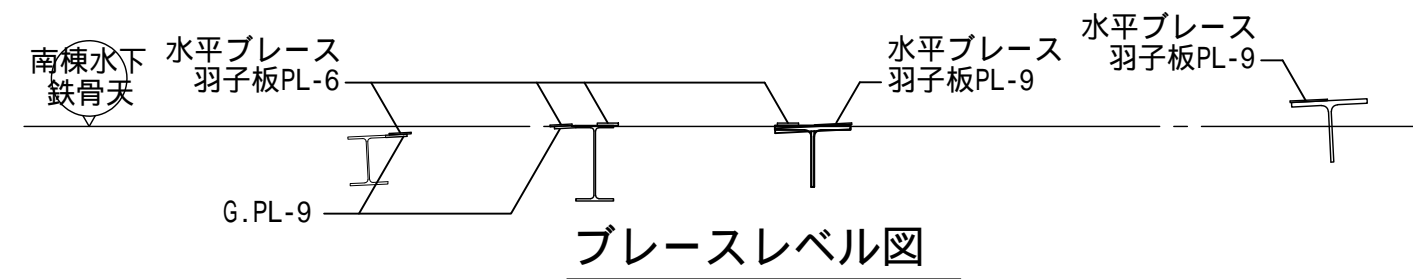
10. 設備機械基礎鉄骨

注記)
 1. 鉄骨材質 SS400
 2. アンカーボルト 特記外 L=25d 先端フック付き 二重ナット締め
 3. 屋外露出部は溶融亜鉛めっき仕上げとする。

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-034
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 鉄骨詳細図 その1 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	

鉄骨詳細図 その2
(南棟)

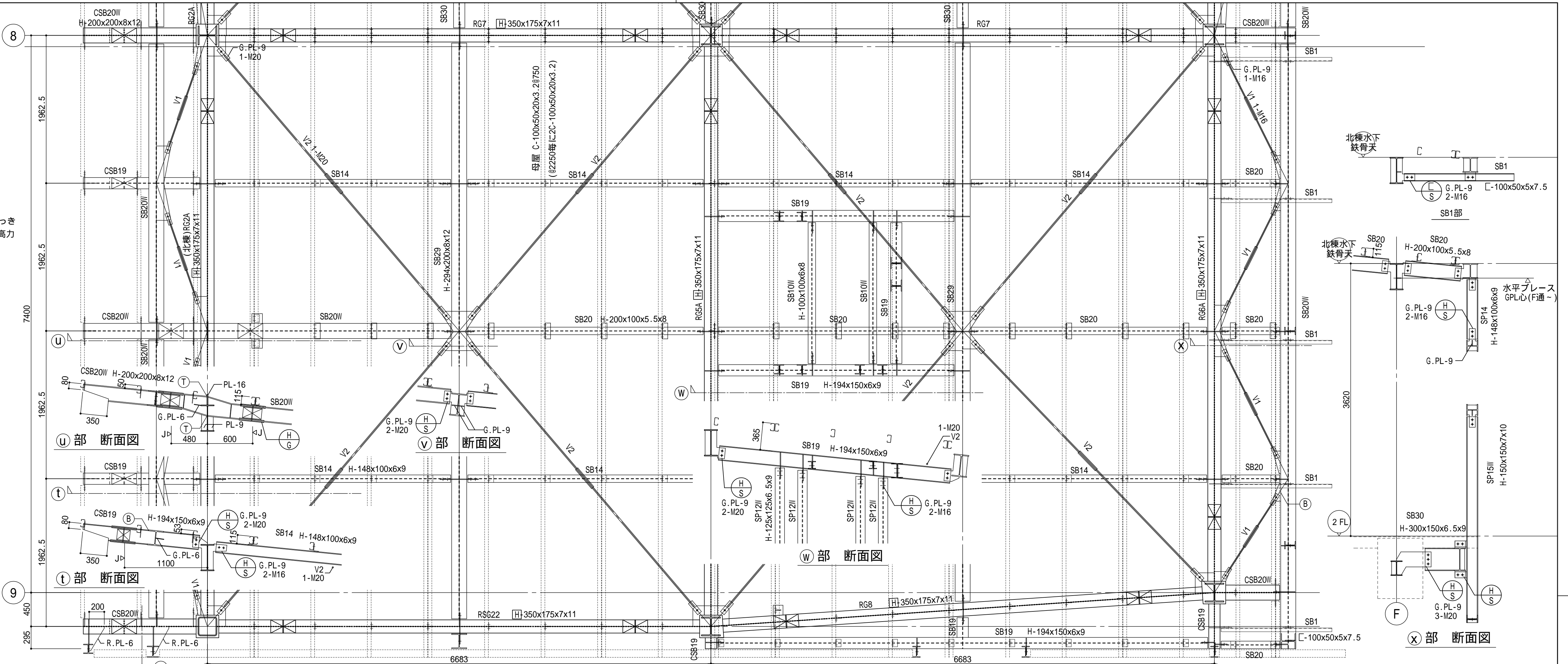
- 注記)
- 鉄骨材質
 無印: SS400
 □印: SN400B
 ○印: SN490C
 ●印: SN490B
 - アンカーボルト
 特記外 L=25d 先端フック付き
 二重ナット締め
 - ボルト
 特記外 トルシア形高力ボルト (HTB) S10T
 - 屋外露出部及びプル室内鉄骨は溶融亜鉛めっき仕上げとする。またボルトは溶融亜鉛めっき高力ボルトF8T相当とする。



株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 S-035
	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	担当	図面名称 鉄骨詳細図 その2 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	

鉄骨詳細図 その3
(北棟)

- 注記)
- 鉄骨材質
無印 : SS400
□印 : SN400B
○印 : SN490C
●印 : SN490B
 - アンカーボルト
特記外 L=25d 先端フック付き
二重ナット締め
 - ボルト
特記外 トルシア形高力ボルト (HTB) S10T
 - 屋外露出部及びブール室内鉄骨は溶融亜鉛めっき仕上げとする。またボルトは溶融亜鉛めっき高力ボルトF8T相当とする。



U部 断面図

V部 断面図

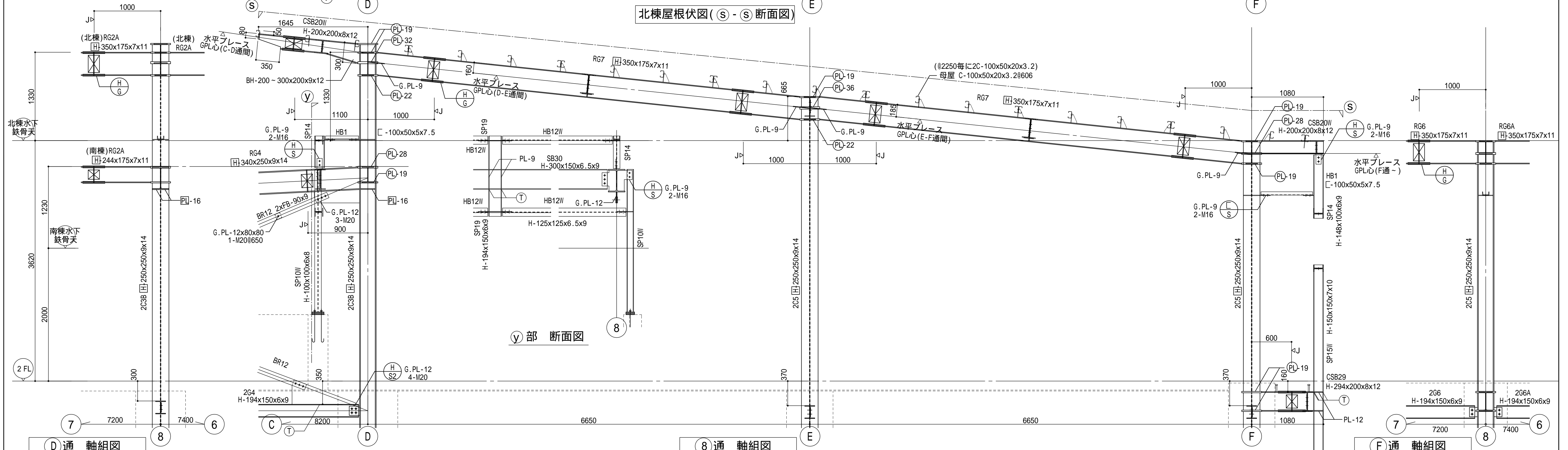
W部 断面図

T部 断面図

F部 断面図

X部 断面図

北棟屋根伏図 (S-S断面図)



Y部 断面図

D通 軸組図

8通 軸組図

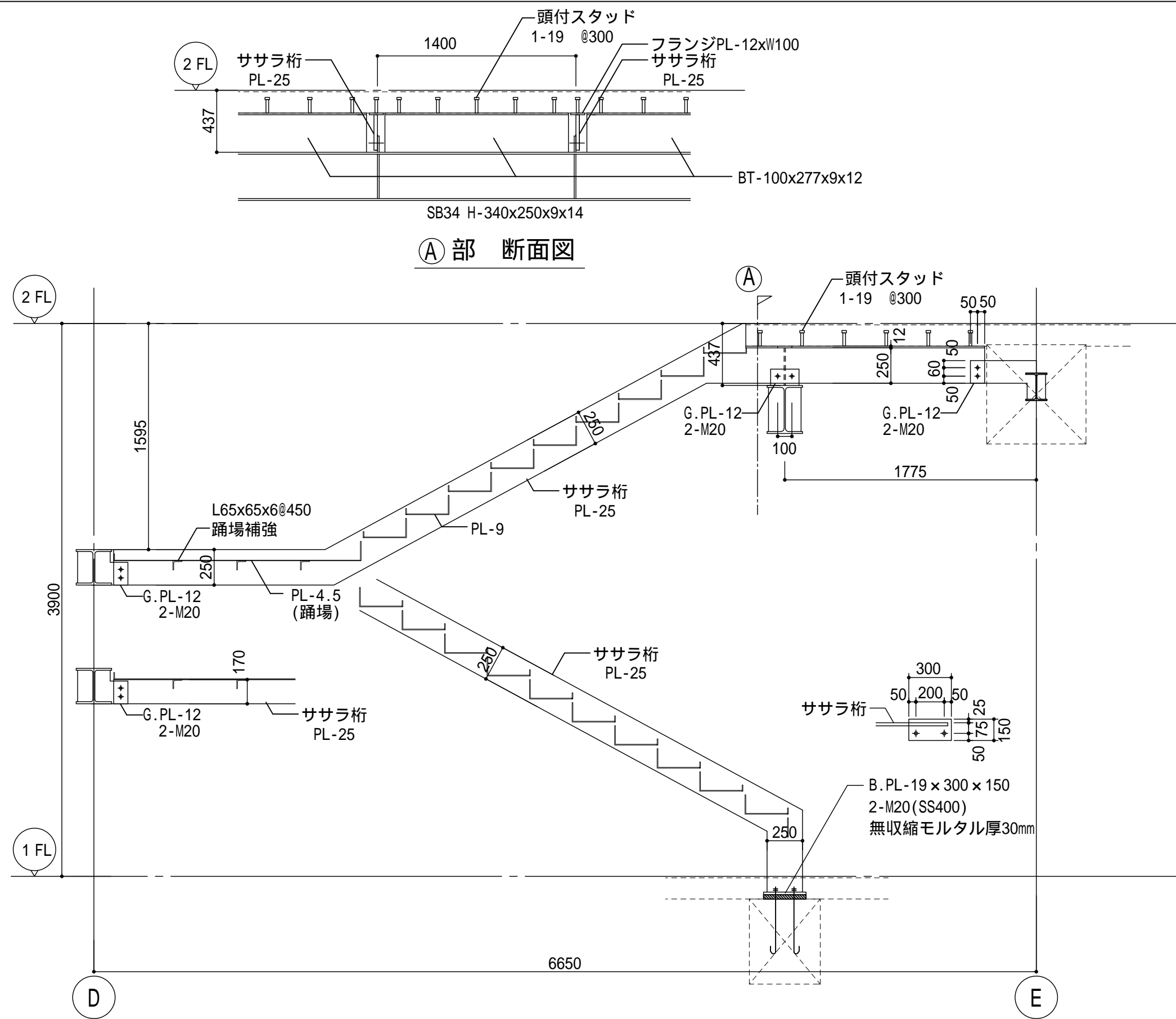
F通 軸組図

株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称	余熱利用施設建設工事	図面番号 S-036
		一級建築士 NO.286010		一級建築士 NO.231198	担当	図面名称	鉄骨詳細図 その3	
		小柳 英治		構造設計一級建築士 NO.5438	太田原 克則	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60	

鉄骨詳細図 その4

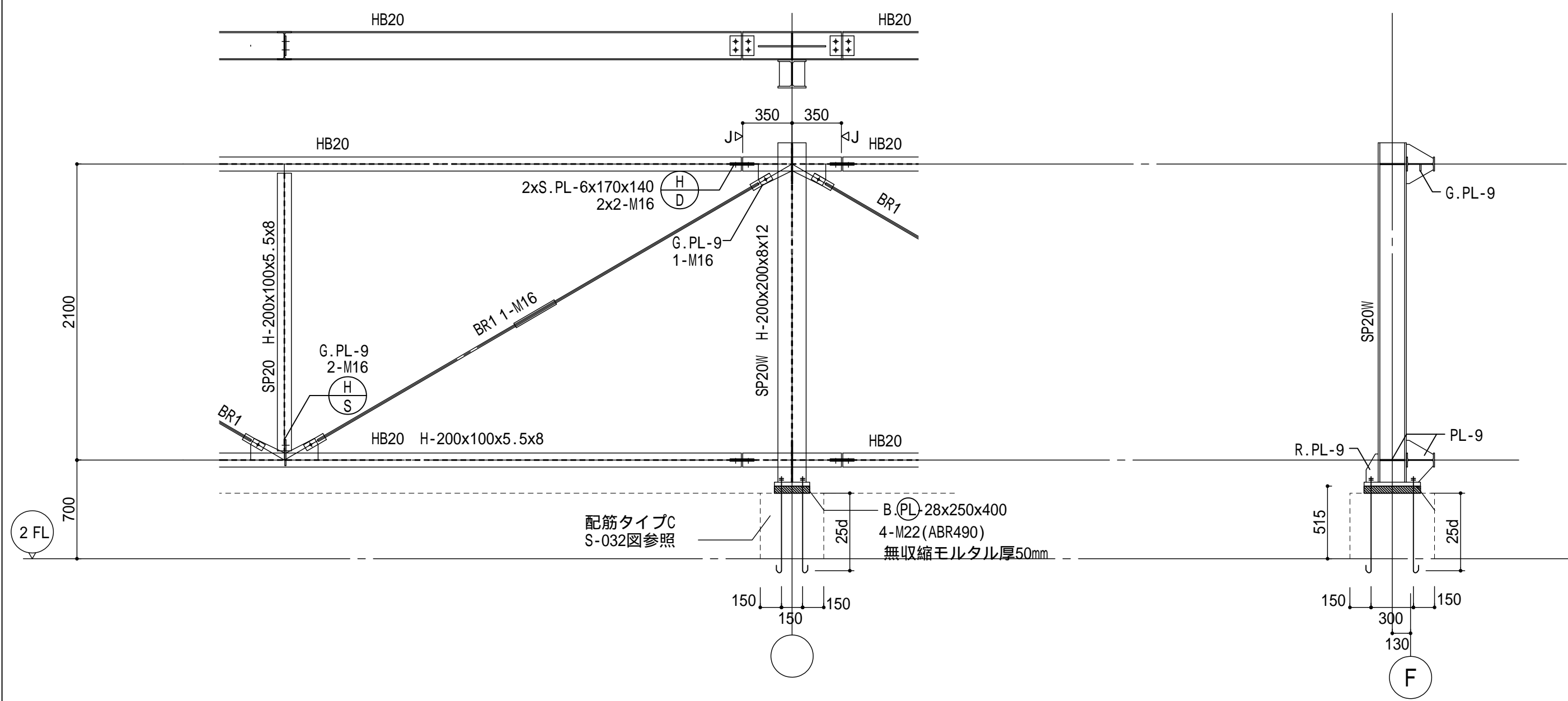
鉄骨階段詳細図

- 注記)
- 鉄骨材質
無印 : SS400
 - アンカーボルト
特記外 L=25d 先端フック付き
二重ナット締め
 - ボルト
特記外 トルシア形高力ボルト (HTB)S10T



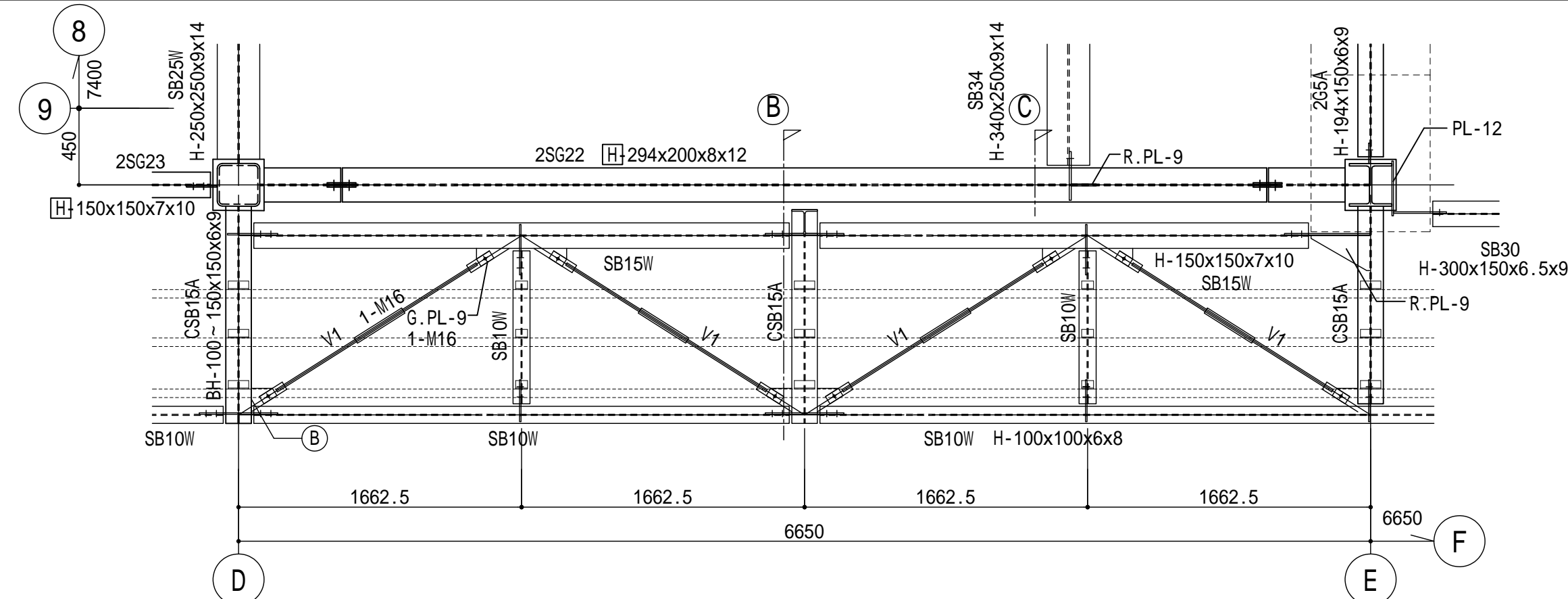
目隠しルーバー詳細図

- 注記)
- 鉄骨材質
無印 : SS400
○印 : SN490C
 - アンカーボルト
特記外 L=30d 先端フック付き
二重ナット締め
 - ボルト
特記外 溶融亜鉛めっき高力ボルトF8T相当
 - 溶融亜鉛めっき仕上げとする。

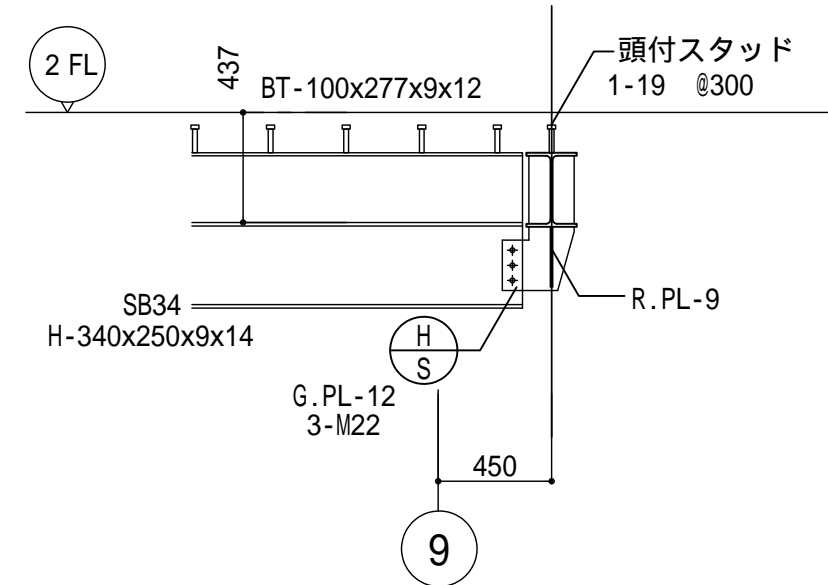
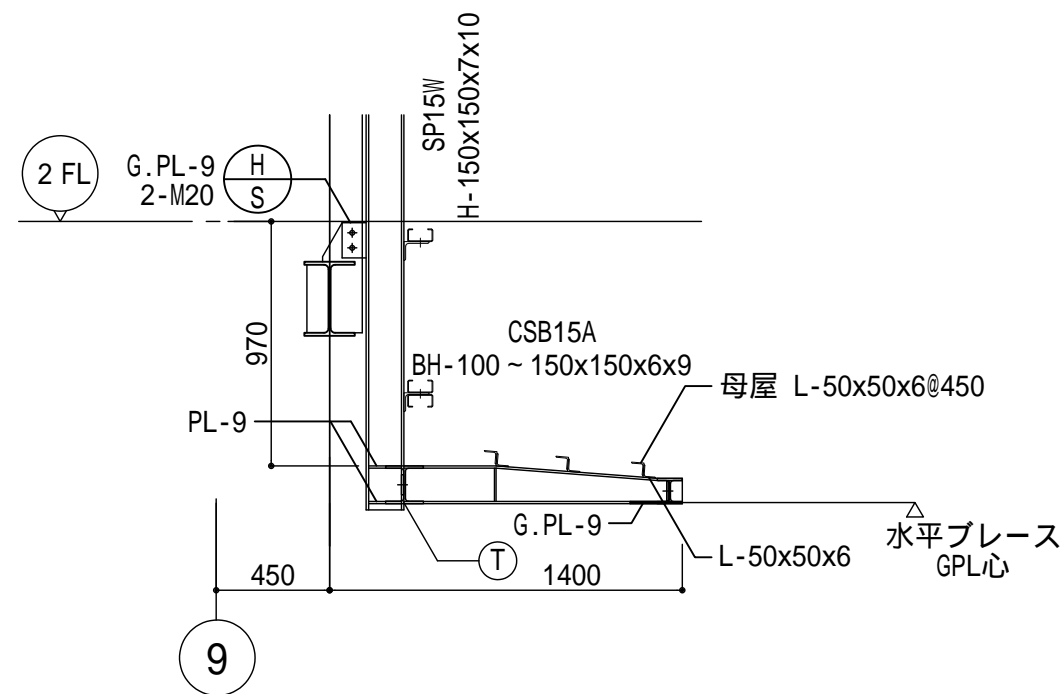


風除室周り詳細図

- 注記)
- 鉄骨材質
無印 : SS400
□印 : SN400B
○印 : SN490C
●印 : SN490B
 - アンカーボルト
特記外 L=25d 先端フック付き
二重ナット締め
 - ボルト
特記外 トルシア形高力ボルト (HTB)S10T



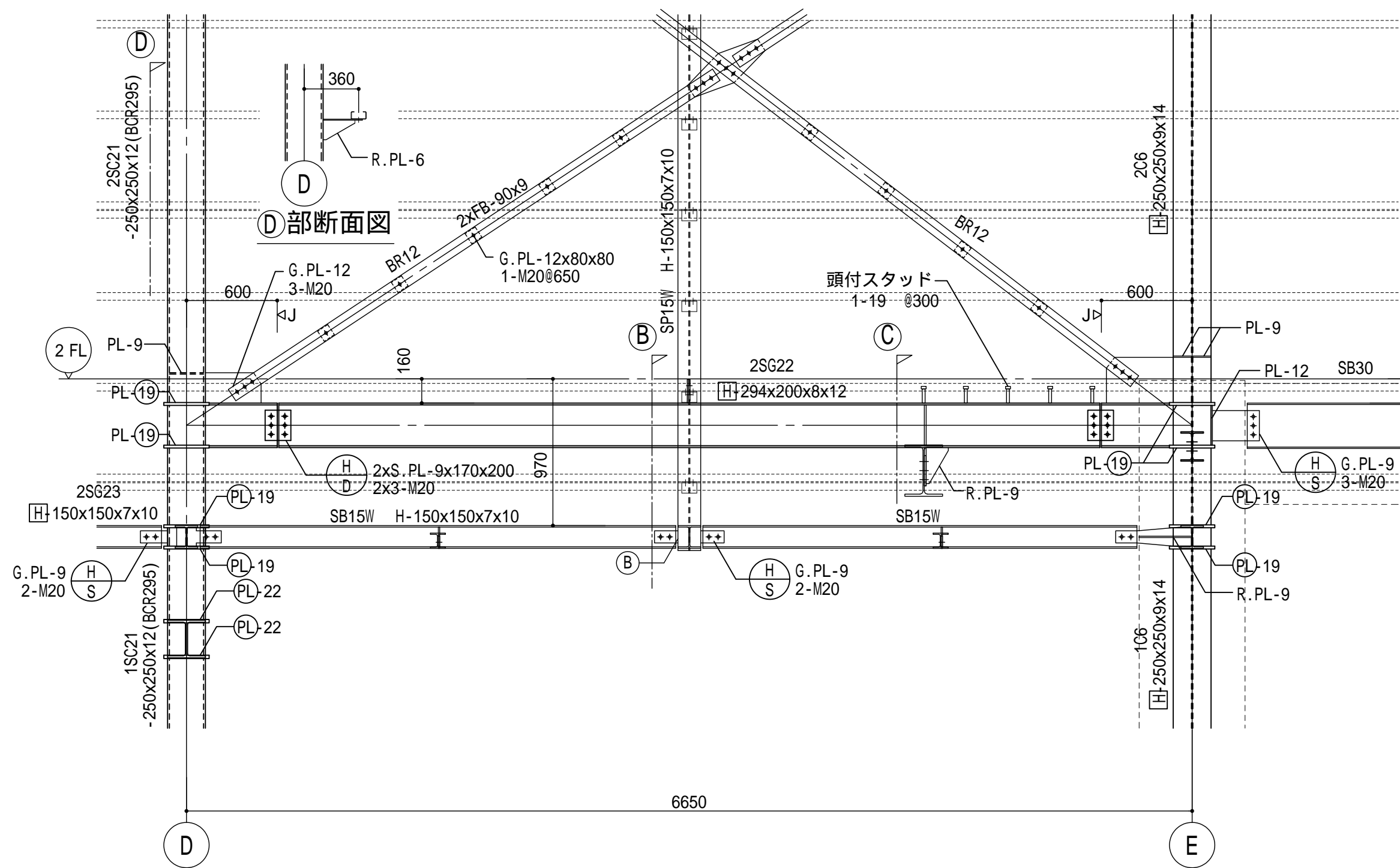
風除室周り 屋根2階伏図



Ⓑ部 断面図

Ⓒ部 断面図

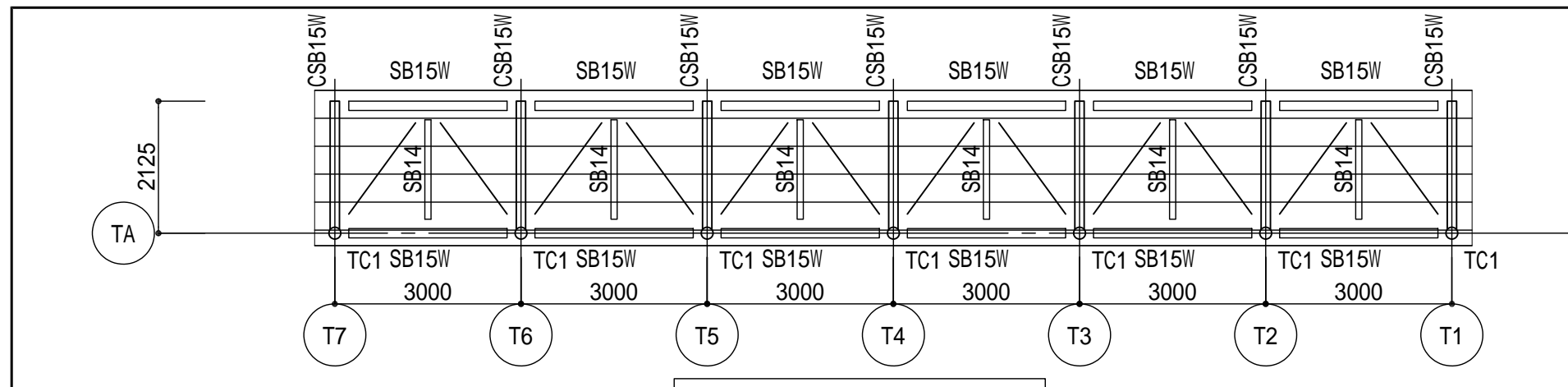
胴縁 C-100x50x20x3.2@606
(@1820毎にC-100x50x20x3.2)



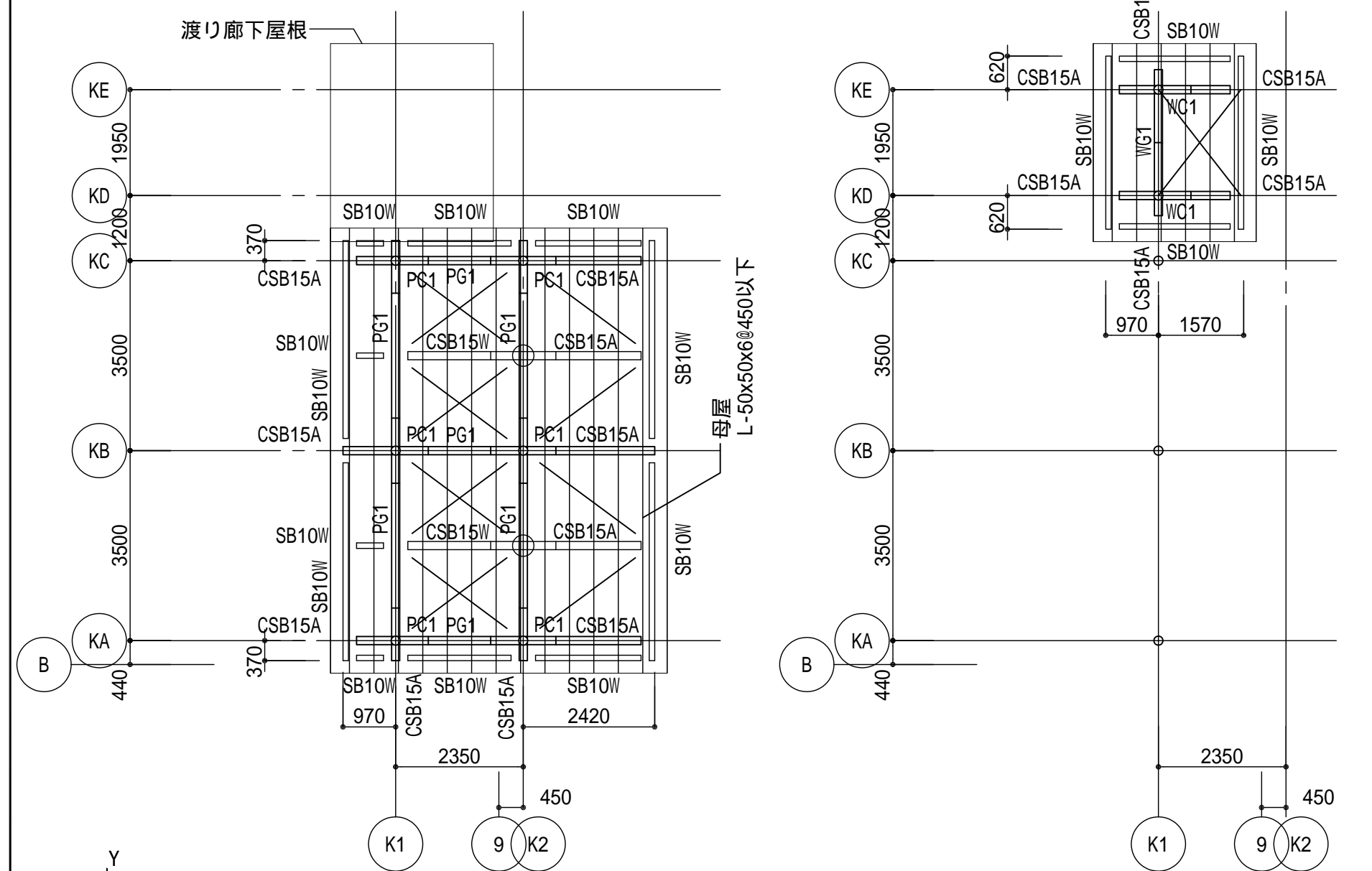
Ⓓ部 断面図

⑨通 軸組図

設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考 種別/備考	工事名称 余热利用施設建設工事	図面番号 S-037
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	一級建築士 NO.231198 構造設計一級建築士 NO.5438 太田原 克則	図面名称 鉄骨詳細図 その4 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	



駐輪場屋根伏図



駐車場屋根伏図

渡り廊下屋根伏図

A1(1/100)

屋根伏図(見上げ図) 1FL=設計GL+1200 (1FL=TP+5.32m)

- 注記)
1. 梁上端は軸組図による
 2. 母屋はL-50x50x6@450とする
 3. 特記なき限りは柱心=通心とする。
 4. 鉄骨梁の接合部は下記による
・剛接合を示す
・ピン接合を示す
 5. 溶融亜鉛めっき仕上げとする
(コンクリートに打込まれる範囲以外)
 6. 屋根ブレースはV1とする
 7. 駐車場、渡り廊下の1階伏図はS-014図による。
駐輪場の1階伏図は外構図及び意匠図(駐輪場詳細図)による。

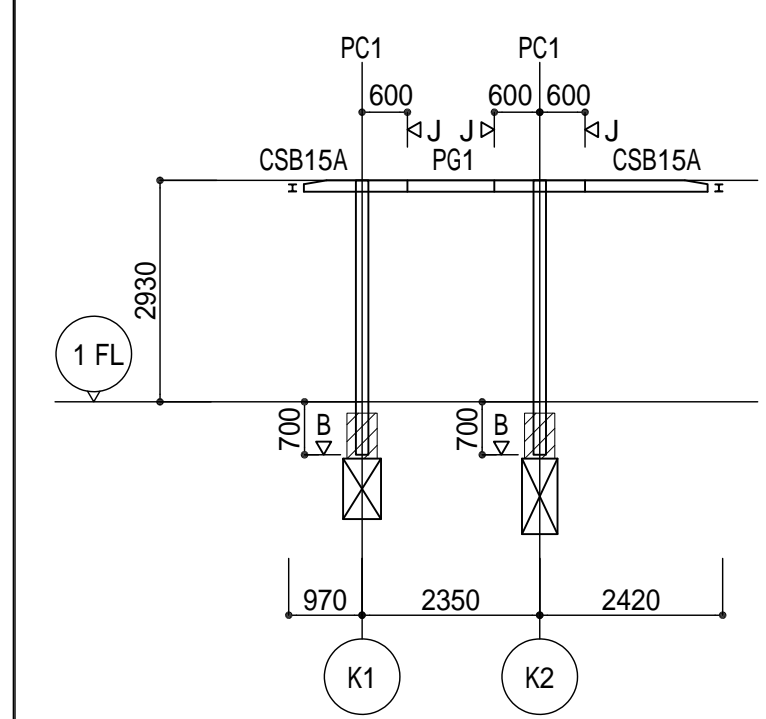
鉄骨柱リスト A1(1/30) 注記) 1. 基礎柱 帯筋の形状はH形

符号	WC1	PC1	TC1
1F	-165.2x7.1(STK400)	-165.2x7.1(STK400)	-190.7x8.2(STK400)
柱脚			
ベースプレート	B. PL-16x280x280(SS400)	B. PL-16x280x280(SS400)	B. PL-25x320x320(SN490C)
アンカーボルト	4-M16(SS400)	4-M16(SS400)	4-M22(ABR490)
基礎柱			
B x D	500x500	470x470	500x400
主筋	12-D16(SD295A)	12-D13(SD295A)	10-D13(SD295A)
フープ	-D10@100(SD295A)	-D10@100(SD295A)	-

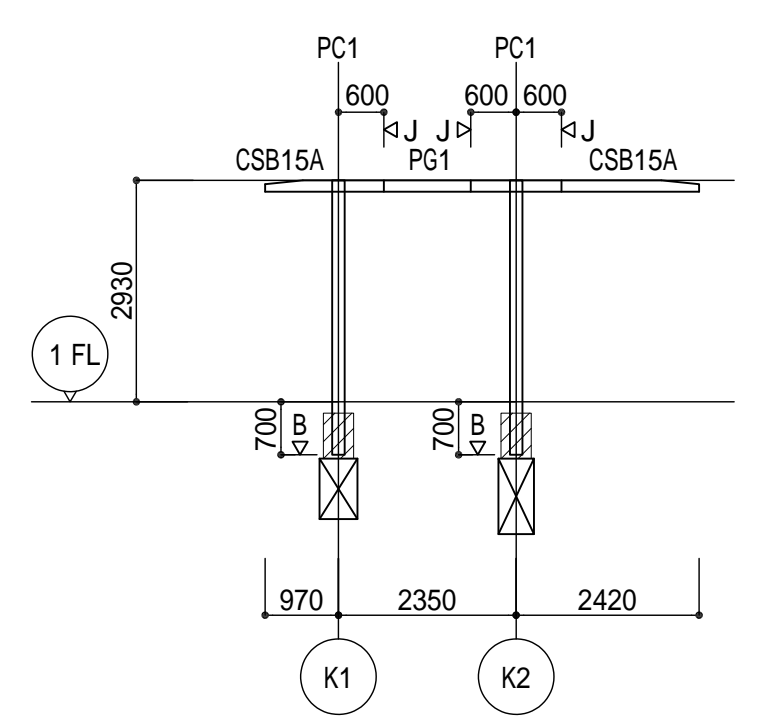
鉄骨梁・ブレースリスト

- 注記) 1. 鉄骨材質 SS400 H- H形鋼
BH- 溶接組立H形鋼
2. $\frac{H}{S}$ はピン接合、 $\frac{H}{G}$ は剛接合を示す。
(鉄骨継手表S030図参照)

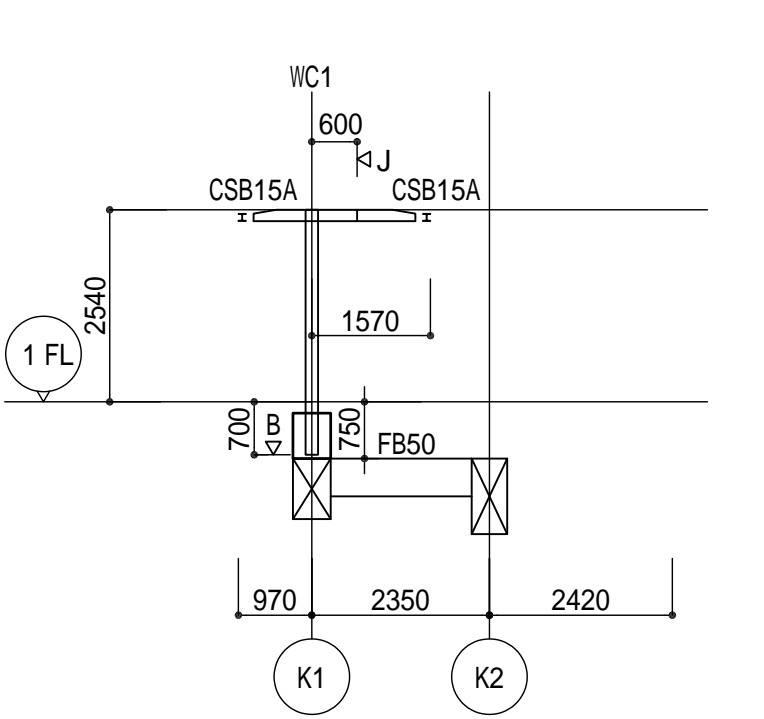
符号			部材断面
梁	片持梁	ブレース	
SB10W			H-100x100x6x8
SB14			
SB15W, PG1, WG1	CSB15W		H-150x150x7x10
	CSB15A		BH-100-150x150x6x9
		V1	1-M16(ターンバックル付)



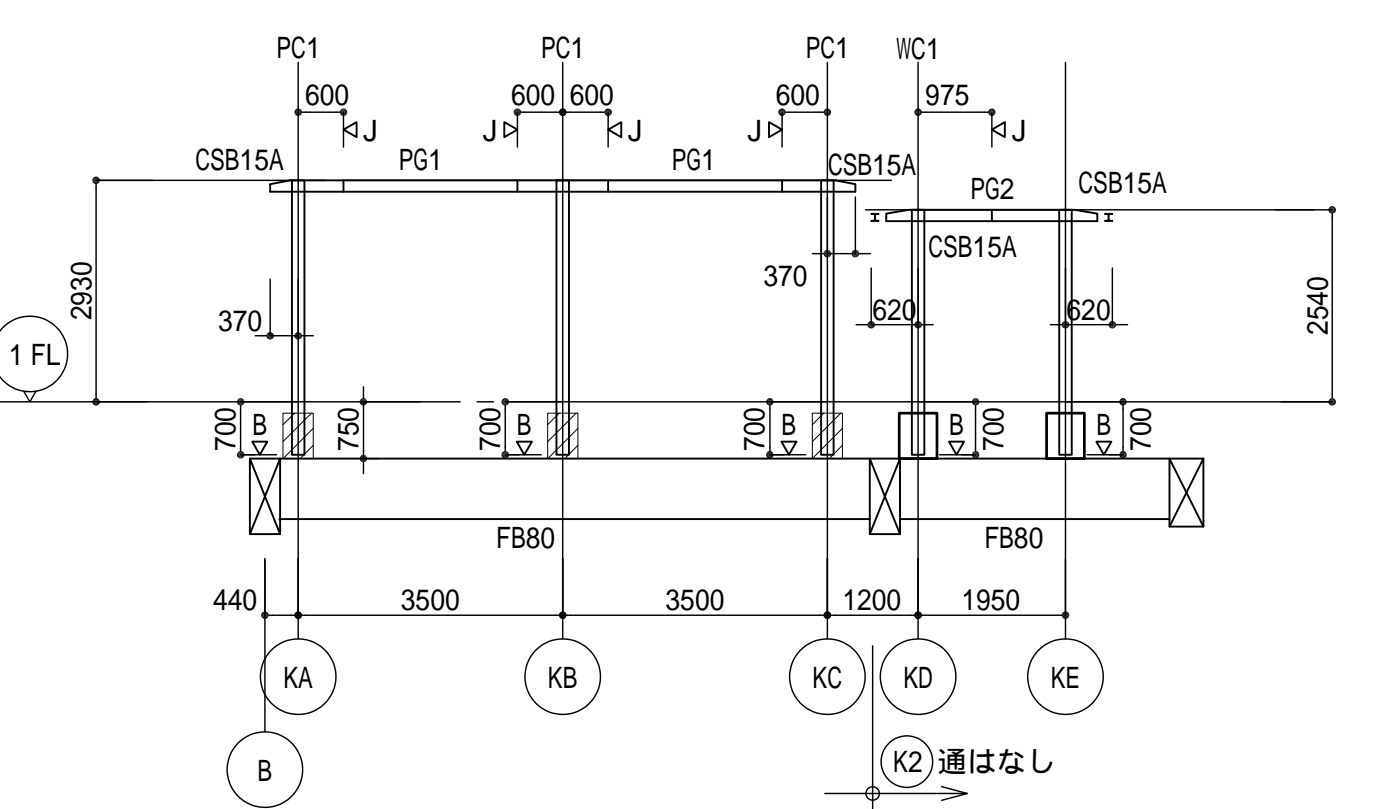
(KA) (KC) 通軸組図



(KB) 通軸組図



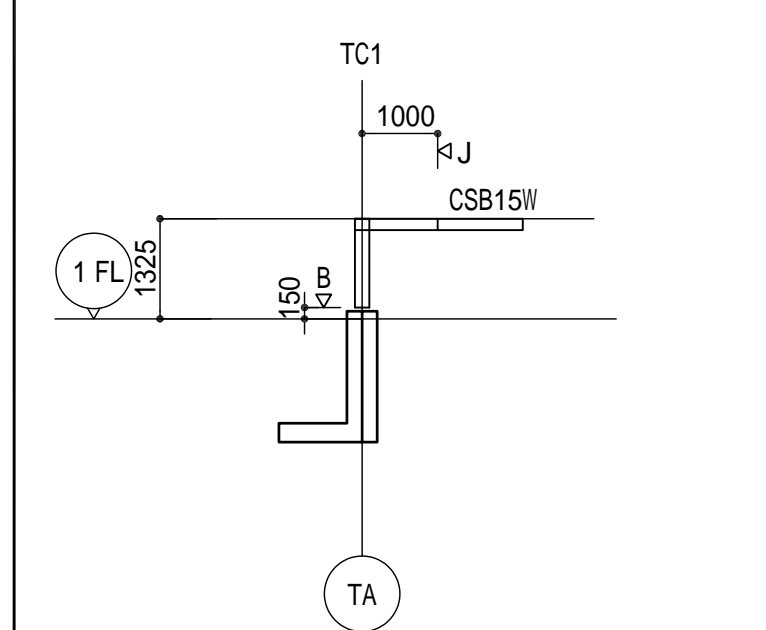
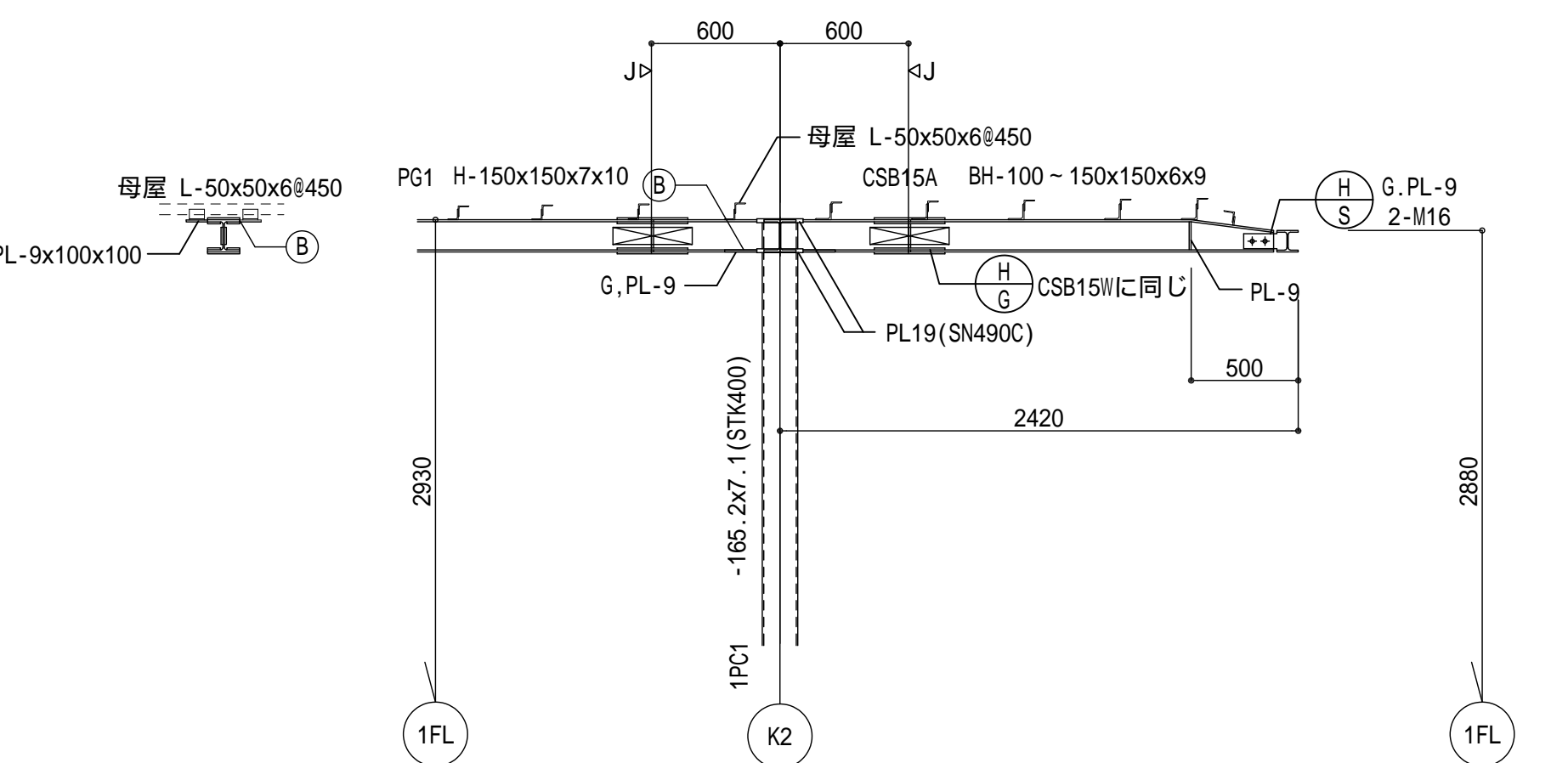
(KD) (KE) 通軸組図



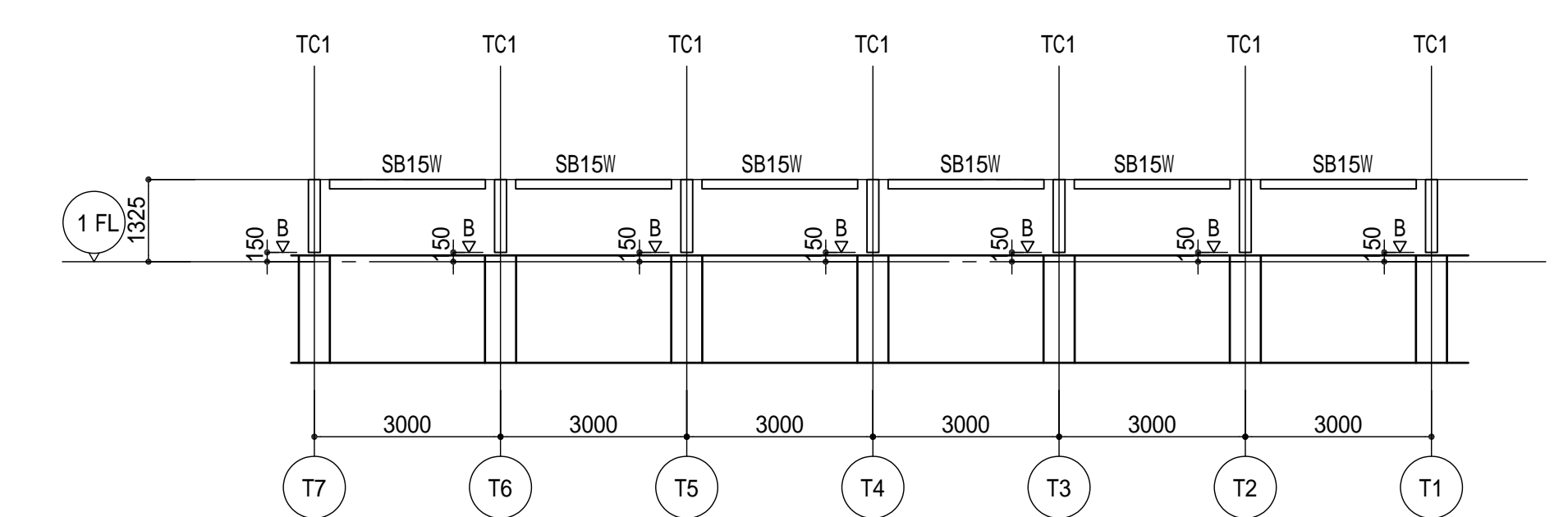
(K1) (K2) 通軸組図

鉄骨詳細図 A1(1/30)

- 注記)
1. 鉄骨材質 無印: SS400
 2. ボルト 特記外 トルシア形高力ボルト(HTB)S10T
 3. 溶融亜鉛めっき仕上げとする
(コンクリートに打込まれる範囲以外)



(T1) ~ (T7) 通軸組図



(TA) 通軸組図

A1(1/100)

屋根伏図(見上げ図) 1FL=設計GL+1200 (1FL=TP+5.32m)

- 注記)
1. 特記なき限りは柱心=通心とする。
 2. 鉄骨梁の接合部は下記による
・剛接合を示す
・ピン接合を示す
 3. $\frac{H}{B}$ はベースプレート下端を示す
 4. <J> は大梁、柱継手位置を示す